

眺望点及び眺望景観

地 点 名	01 大観峰	 出典：地理院地図（電子国土 Web）
所 在 地	阿蘇市山田（32° 59′ 44.41″ ・131° 4′ 1.55″ ）	
施設概要	北外輪山に突き出した“鼻”と呼ばれる地形のひとつ。かつて「遠見ヶ鼻」と呼ばれたが、文豪徳富蘇峰が「大観峰」と名づけた。 （出典：熊本県公式観光サイト（URL: https://kumamoto.guide/spots/detail/211） アクセス：県道 45 号（ミルクロード）から進入路にて容易にアクセス可能 利 用 性：駐車場・売店・トイレ有，入場は無料。舗装された遊歩道により最高標高点から“鼻”の最先端まで導かれる。	
眺望状況	阿蘇外輪山北側の溶岩・火砕流台地のカルデラ縁にあって、360° の眺望が開ける。最先端部からは中央火口丘及びカルデラ床の水田が良く視認できるとともに、カルデラ壁及び縁を同等の高度で横から視認できる。九重連山方面に風力発電所（阿蘇おぐにウインドファーム）が視認できるとともに、カルデラ背後の台地上にリゾート施設の高層建築物が視認できる。	



施設概要（出典：Google Map）



360° パノラマ 最高標高点より（2023.09.12 撮影）



中央火口丘とカルデラ床
（焦点距離：24 mm）



直線的なカルデラ縁
（焦点距離：24 mm）



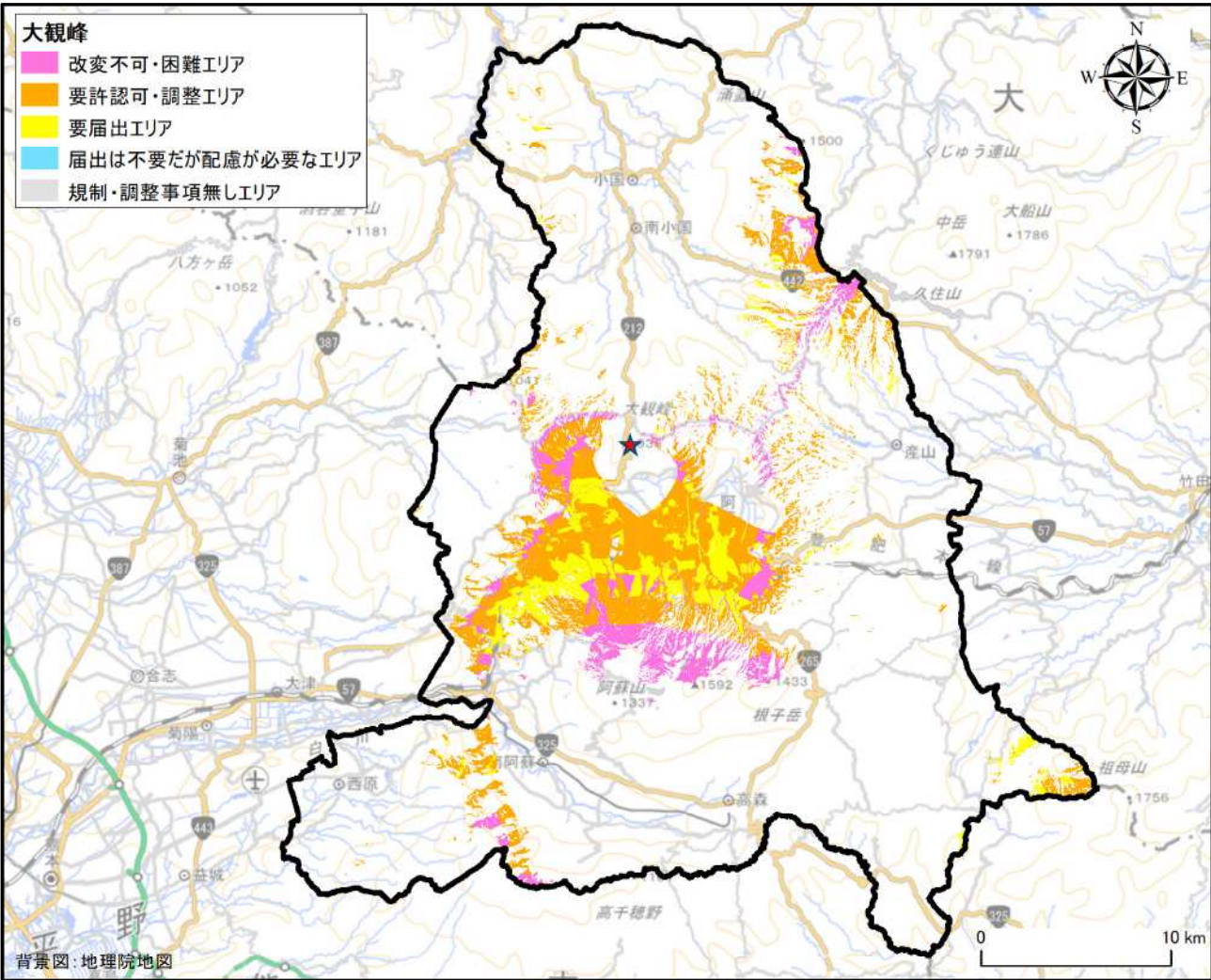
カルデラ背後の台地と高層建物
（焦点距離：70 mm）

アトリビュート分析

アトリビュート 1		アトリビュート 2	
可視領域図			
レーダーチャート			
	アトリビュート 1：阿蘇谷地区にあって、外輪山上・カルデラ壁・カルデラ床・中央火口丘がまんべんなく視認できる。視認範囲が広く（17 地点の中で最もグラフが大きい）、特にカルデラ床と中央火口丘が広く占めることが特徴。	アトリビュート 2：カルデラ床が広く占めることを反映し、水田が比較的広い。森林はカルデラ壁・中央火口丘の山麓やカルデラ床の一部に分布するものが現れたとみられる。	
記載			

法的保護の状況（小規模開発を想定した場合）

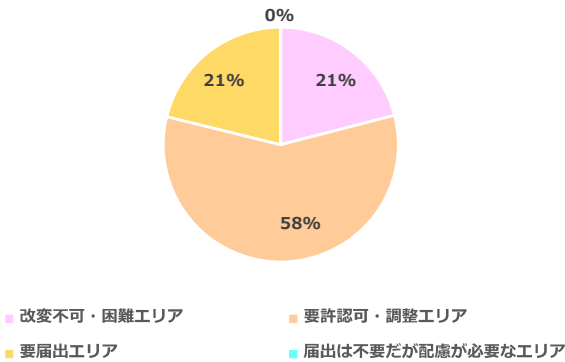
規制マップ（可視領域内）



記載

可視領域は「要許認可・調整エリア」が58%と半分以上を占め、「改変不可・困難エリア」及び「要届出エリア」はそれぞれ21%と同程度である。主に、外輪山内側の中央火口丘北側斜面から中央火口丘にかけて広く分布する。県道11号やまなみハイウェイ沿い等に「改変不可・困難エリア」、祖母山周辺に「要許認可・調整エリア」の可視領域が分布する。

可視領域内の規制種類の割合



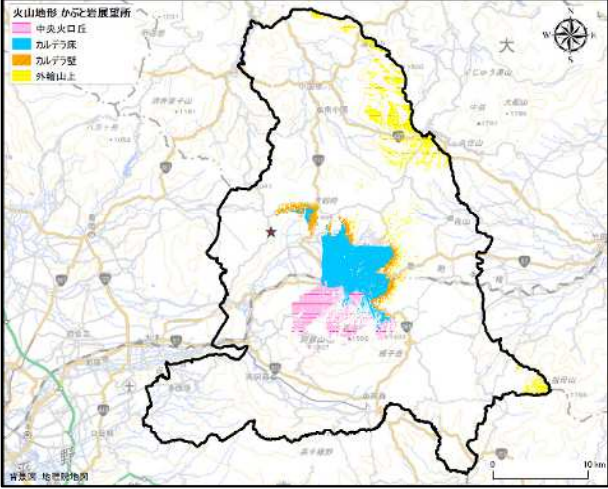
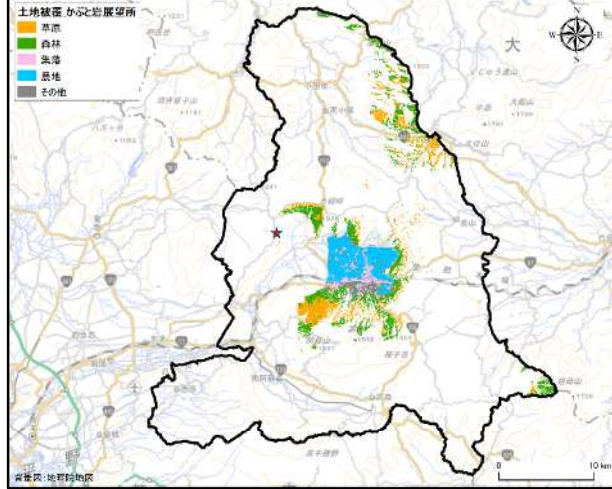
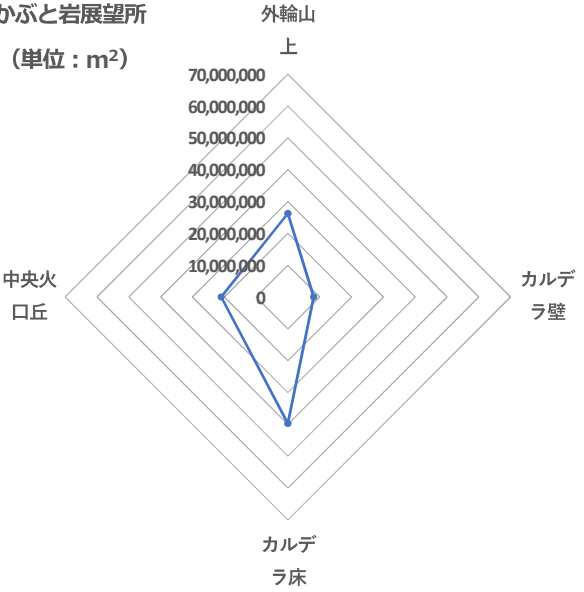
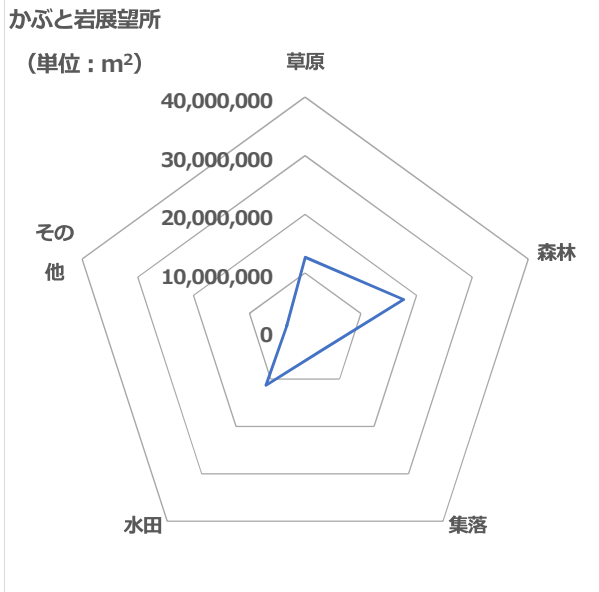
眺望点及び眺望景観

地 点 名	02 かぶと岩展望所	 出典：地理院地図（電子国土 Web）
所 在 地	阿蘇市西小園（32° 58′ 58.89″ ・131° 0′ 54.44″ ）	
施設概要	北外輪山上の西側からの、絶景ポイントのひとつ（熊本県観光連盟 HP（ https://kumamoto.guide/spots/detail/12464 ））。 アクセス：阿蘇外輪山の尾根筋（エッジ）北西部の、県道 339 号（“ミルクロード”）脇に位置し、容易にアクセス可能。 利 用 性：県道を隔てて駐車場、売店・トイレが整備される。入場は無料。展望台はデッキ上にベンチが配置され、案内看板が設置される。 ドライブ・ツーリング途上の立ち寄りがしやすく、来訪者が多い。	
眺望状況	展望所はカルデラのエッジ上にあり、360° の視野を有する。正面に中央火口丘・カルデラ床の水田や内牧温泉街を望み、湾曲したカルデラエッジをのぞき込むと向かって左側の大観峰付近までカルデラ壁とエッジの連なりを見ることが出来る。背後は外輪山上の波状丘陵の草原が広がる。	

 出典：Google Map	展望台と駐車場・売店 
施設概要（出典：Google Map）	

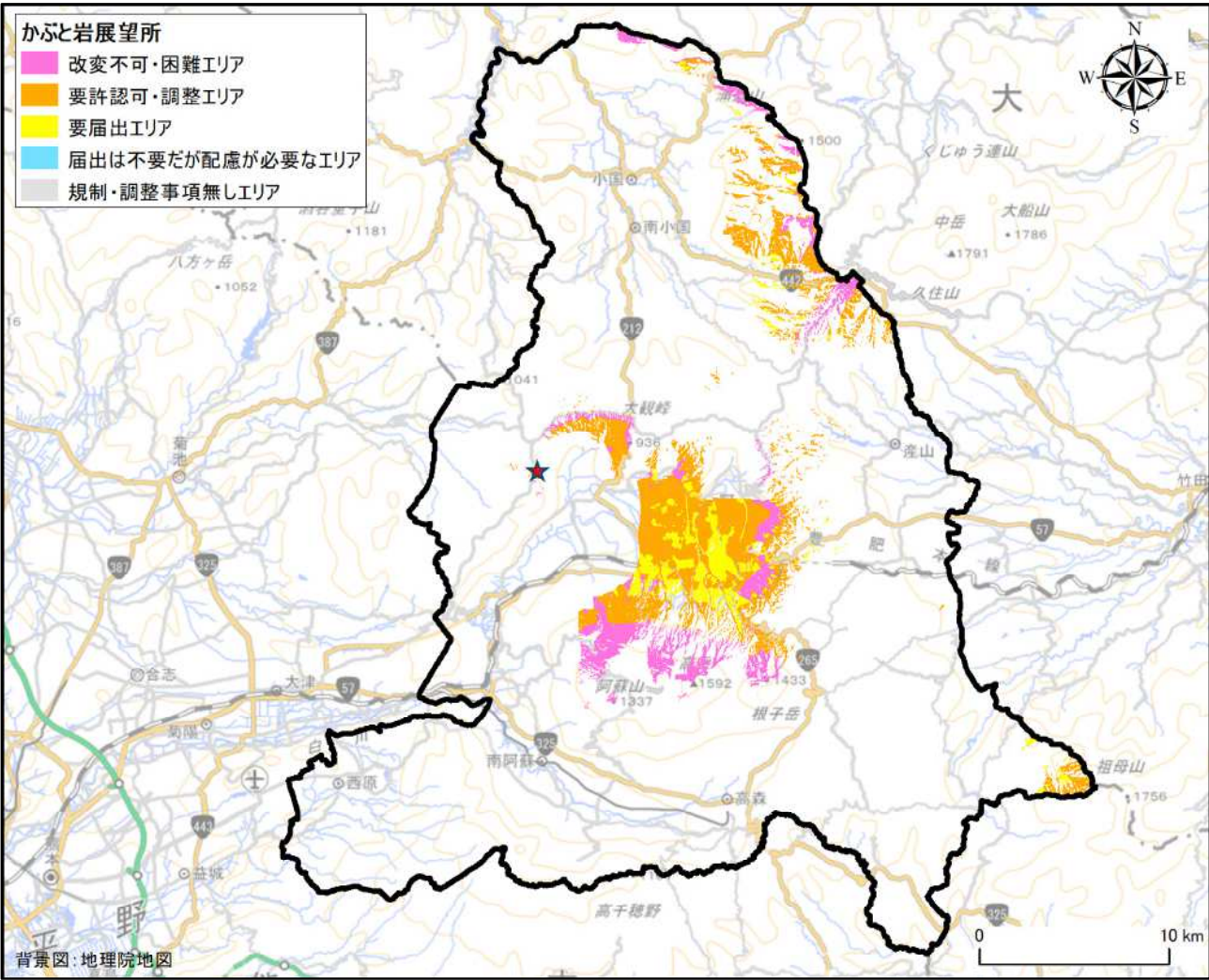
 360° パノラマ（2024.1.4 撮影）		
 中央火口丘・カルデラ床（水田・内牧温泉街）（焦点距離：28 mm）	 カルデラ壁・エッジ（焦点距離：24 mm）	 外輪山上の草原（焦点距離：24 mm）

アトリビュート分析

	アトリビュート 1	アトリビュート 2
可視領域図		
レーダーチャート	かぶと岩展望所 (単位: m²) 	かぶと岩展望所 (単位: m²) 
記載	アトリビュート 1：阿蘇谷地区にあって、外輪山上・カルデラ壁・カルデラ床・中央火口丘がまんべんなく視認できる。大観峰の対岸（西側）に位置し景観構成比率は類似するが、視認範囲は大観峰よりも小さい。 アトリビュート 2：草原・森林・水田が優占し大観峰に景観構成比率は類似するが、視認範囲は大観峰よりも小さい。	

法的保護の状況（小規模開発を想定した場合）

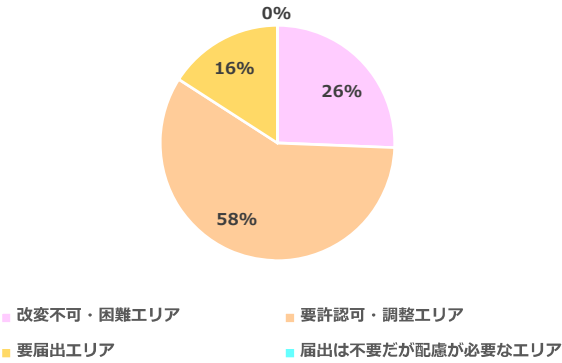
規制マップ（可視領域内）



記載

可視領域は「要許認可・調整エリア」が58%と半分以上を占め、「不可変・困難エリア」の26%と合わせて8割以上を占める。主に外輪山内側の中央火口丘北東側斜面に分布し、国道442及び県道11号やまなみハイウェイが交差する周辺から北東部県境沿い等にも「不可変・困難エリア」の可視領域の分布が見られる。

可視領域内の規制種類の割合



眺望点及び眺望景観

地 点 名	03 城山展望所	
所 在 地	阿蘇市一の宮町三野 (32° 58′ 33.21″ ・ 131° 8′ 21.96″)	
施設概要	県道 11 号 (“やまなみハイウェイ”) 沿いにある展望所で、標高 748m に位置する。(阿蘇市観光協会 HP (https://www.asocity-kanko.jp/spot/shiroyama/)) 北東側カルデラ壁の“古城ヶ鼻”を概ね登り切った付近。 アクセス：県道脇に位置し、アクセスは容易。 利 用 性：駐車場、売店・トイレが整備される。入場は無料。展望台は駐車場脇と草地の中をやや下った“鼻”の先端部にも設けられる。ドライブ・ツーリング途上の立ち寄りがしやすく、来訪者が多い。	
眺望状況	中央火口丘・カルデラ方向に視界が開ける。遠景に中央火口丘（いわゆる“涅槃像”）とカルデラ床の水田が視認され、視野手前はカルデラ壁の“鼻”と呼ばれる独特の地形の連なりを視認できる。背後外輪山側のピークがありやや視界を遮るが、至近で草原がちな波状丘陵を視認することになる。	

	出典：Google Map
施設概要 (出典：Google Map)	

		
360° パノラマ (2024/1/30 撮影)		

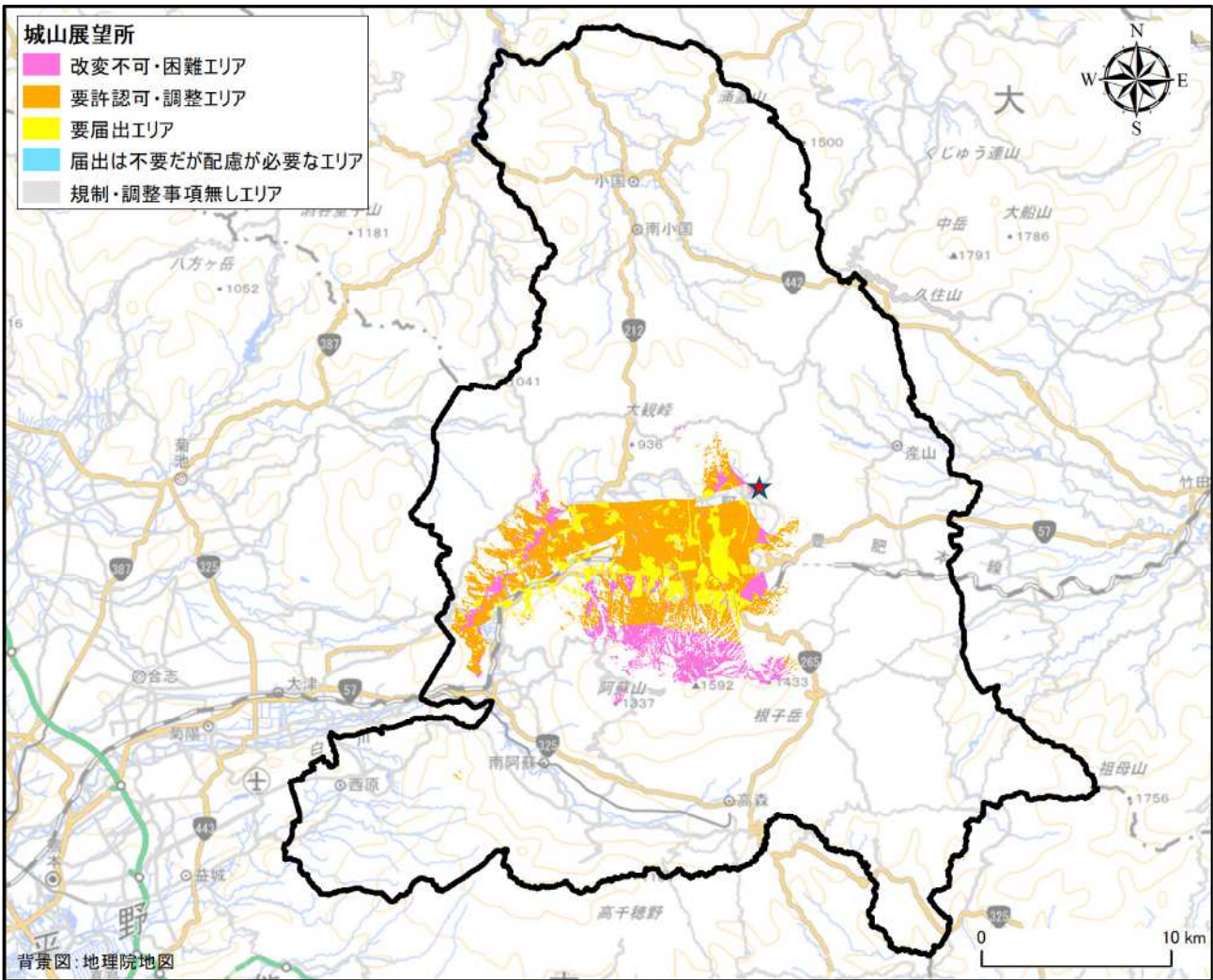
		
中央火口丘とカルデラ床 (焦点距離：24mm)	カルデラ壁“鼻” (焦点距離：28mm)	外輪山上波状丘陵 (焦点距離：28mm)

アトリビュート分析

	アトリビュート 1	アトリビュート 2
可視領域図		
レーダーチャート		
記載	アトリビュート 1：阿蘇谷地区にあるが、外輪山上が極小さく逆にカルデラ床が突出する点で大観峰・兜岩展望所と異なる。カルデラ壁斜面にあって、カルデラ床をのぞき込む視線にやや特化した眺望点と言える。 アトリビュート 2：比較的まんべんなく視認できるが、草原の比率が比較的小さく水田の比率が大きい。カルデラ床を主体とする視認範囲を反映した結果と考えられる。	

法的保護の状況（小規模開発を想定した場合）

規制マップ（可視領域内）



記載	可視領域内の規制種類の割合										
可視領域は「要許可・調整エリア」が58%を占める。「不可変・困難エリア」及び「要届出エリア」はそれぞれ21%と同程度である。主に外輪山内側の中央火口丘北西側斜面及びJR 豊肥本線の北側に分布する。	<table border="1"><thead><tr><th>規制種類</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>不可変・困難エリア</td><td>21%</td></tr><tr><td>要許可・調整エリア</td><td>58%</td></tr><tr><td>要届出エリア</td><td>21%</td></tr><tr><td>届出は不要だが配慮が必要なエリア</td><td>0%</td></tr></tbody></table>	規制種類	割合	不可変・困難エリア	21%	要許可・調整エリア	58%	要届出エリア	21%	届出は不要だが配慮が必要なエリア	0%
規制種類	割合										
不可変・困難エリア	21%										
要許可・調整エリア	58%										
要届出エリア	21%										
届出は不要だが配慮が必要なエリア	0%										

眺望点及び眺望景観

地 点 名	04 二重峠	
所 在 地	阿蘇市車帰（32° 55′ 0.69″ ・130° 58′ 12.78″ ）	
施設概要	（写真撮影・調査は二重峠石畳について） 加藤清正公が作った街道で、肥後と豊後を結ぶ豊後街道の一部。坂1.6km にわたり幅約3m の石畳が敷き詰められている。江戸時代には細川氏の参勤交代に使われた。（出典：熊本県公式観光サイト（https://kumamoto.guide/spots/detail/11929）） アクセス：県道339号（“ミルクロード”）に面し、アクセスは容易。 石畳の旧街道を散策しながらカルデラ壁を下る形。 利 用 性：駐車場・四阿有，入場は無料。	
眺望状況	カルデラ壁に形成された谷部を下る形で視野は比較的狭く120° 程度。背後はカルデラ壁が迫る。街道が屈曲する箇所でもカルデラ内方向に眺望が開ける。中央火口丘とその裾野の樹林，カルデラ床の水田等が視認できる。周辺・背後はカルデラ壁の草地・火山岩類の露出，旧街道の石畳等が視認できる。	



施設概要（出典：Google Map）



360° パノラマ（2024/1/4 撮影）



カルデラ壁上部のピークと草原（焦点距離：24 mm）



中央火口丘・カルデラ床（焦点距離：24 mm）



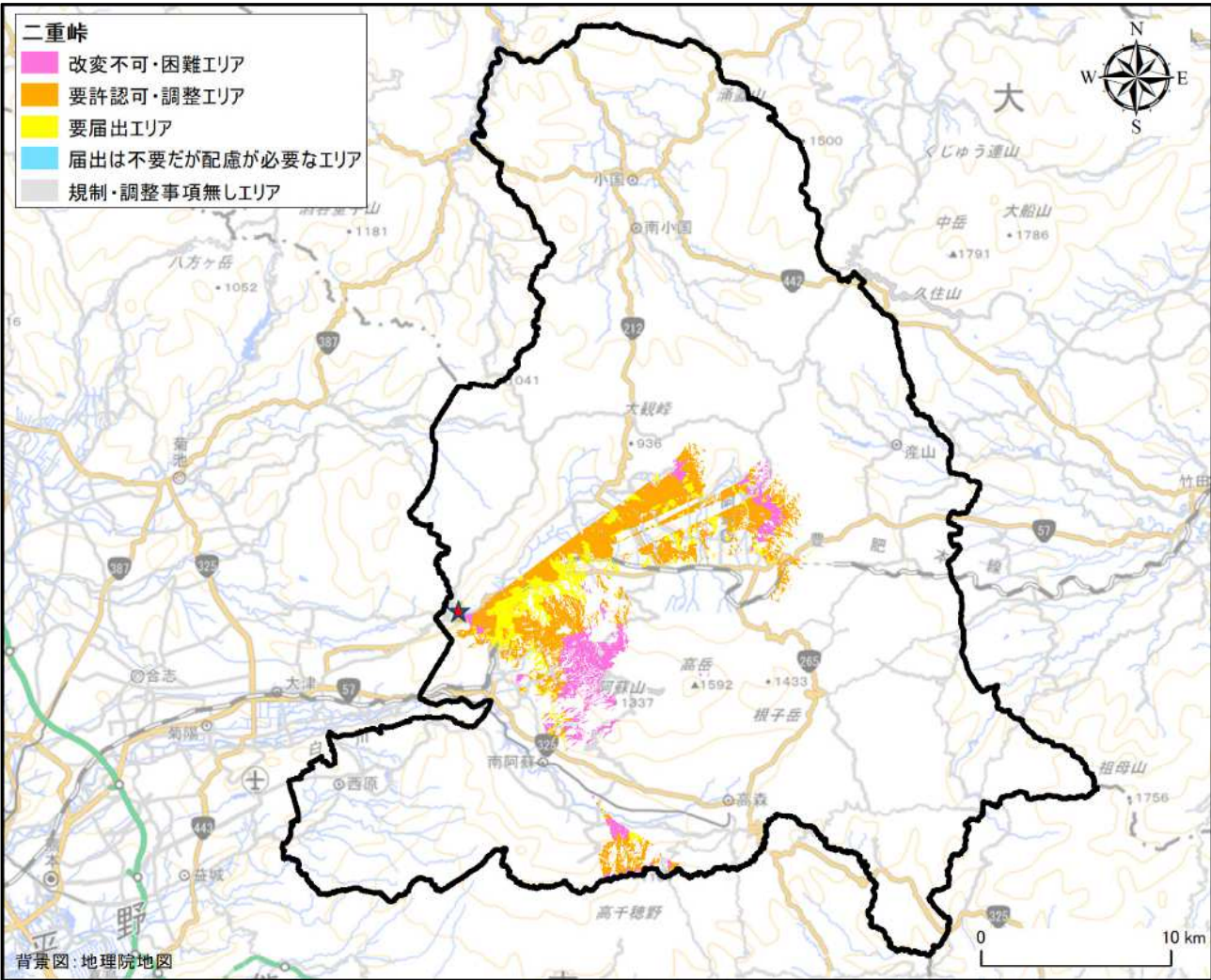
カルデラ壁の火山岩類，石畳（焦点距離：24 mm）

アトリビュート分析

	アトリビュート 1	アトリビュート 2
可視領域図		
レーダーチャート		
記載	アトリビュート 1：城山展望所とはほぼ対角に位置し隔たった場所にあるが、景観構成要素としては比較的類似している。阿蘇谷地区にあって比較的均等な構成だが外輪山上が極小さい。カルデラ壁斜面にあって、カルデラ床をのぞき込む視線にやや特化しているためである。 アトリビュート 2：全体的に視認範囲は小さくなるが、城山展望所と類似した構成。比較的まんべんなく視認できるが、草原の比率が比較的小さく水田の比率が大きい。カルデラ床を主体とする視認範囲を反映した結果と考えられる。	

法的保護の状況（小規模開発を想定した場合）

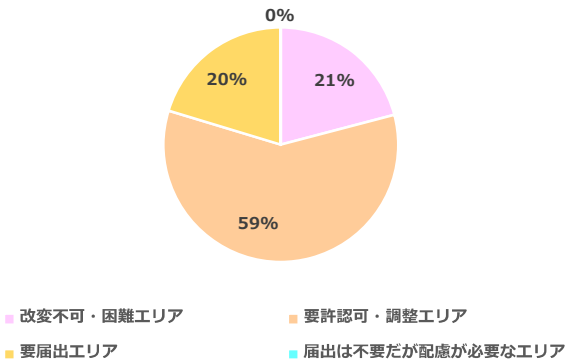
規制マップ（可視領域内）



記載

可視領域は「要許認可・調整エリア」が59%と半分以上を占める。「改変不可・困難エリア」及び「要届出エリア」はそれぞれ約20%と同程度であるが、「要届出エリア」は傾斜が緩いカルデラ床部分に多い。主に、外輪山内の中央火口丘北西斜面及びJR豊肥本線の北側に分布している。

可視領域内の規制種類の割合



眺望点及び眺望景観

地 点 名	05 草千里展望所	 出典：地理院地図（電子国土 Web）
所 在 地	阿蘇市永草（32° 53′ 10.93″ ・131° 3′ 7.39″ ）	
施設概要	78万5000㎡の大草原と、雨水が溜まってできたといわれる池とが織りなす自然のコントラストが非常に美しい場所で、阿蘇地域きっての観光スポット。草原は散策もでき乗馬体験も行われる。（出典：熊本県公式観光サイト（https://kumamoto.guide/spots/detail/12528）） アクセス：県道298号（阿蘇パノラマライン）に面し、アクセスは容易。 利 用 性：広い駐車場を有する。利用は有料。売店・トイレ・レストランを備えたレストハウスや博物館が併設され、多角的な利用が可能。眺望点は草千里ヶ浜旧火口壁上の小高い場所で、散策路により導かれる。	
眺望状況	草千里ヶ浜旧火口壁上にあり360°の視野が得られる。主な視線は草千里ヶ浜方向と想定され、広大な草原・二つの池、烏帽子岳が視認される。向かって左側（東側）に中岳・高岳も視認される。また背後は杵島岳・米塚・カルデラ床（阿蘇谷）が視認されるほか、日田方面の山並みも遠望される。 本眺望点は、西方の熊本平野方面の可視領域が広いことが特徴で、条件が良いと雲仙普賢岳まで見通せる。	



施設概要（出典：Google Map）



360° パノラマ（2024.2.25 撮影）

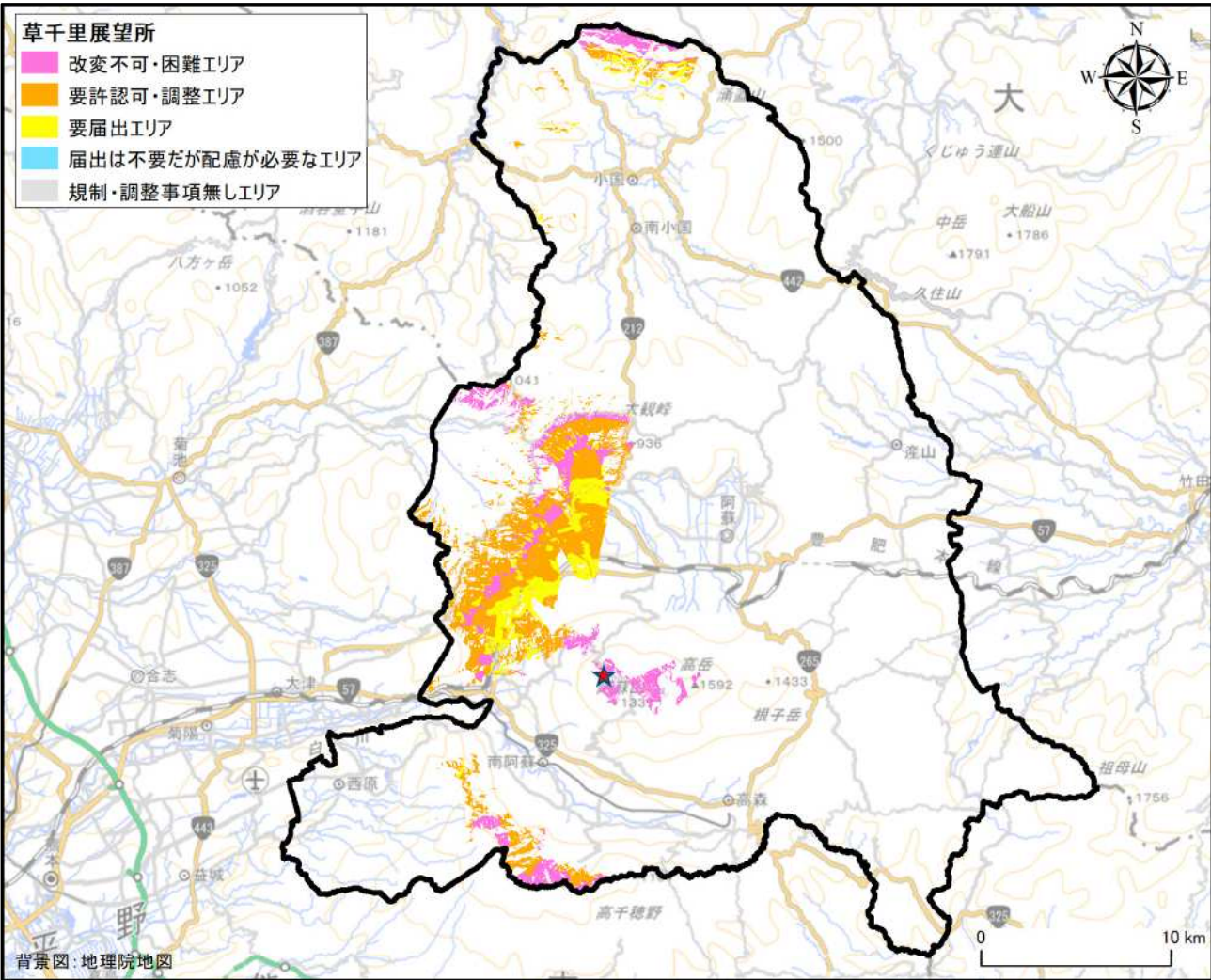


アトリビュート分析

	アトリビュート 1	アトリビュート 2
可視領域図		
レーダーチャート	草千里展望所 (単位: m²)	草千里展望所 (単位: m²)
記載	アトリビュート 1：中央火口丘上に位置しある程度視点が高いことに起因して、近景域の中央火口丘のみならず、カルデラ床・カルデラ壁・外輪山上と比較的均等な景観構成要素となっている。 アトリビュート 2：森林の比率がやや高く、中央火口丘斜面やカルデラ壁等が良く視認されることに起因する。その他は占める割合は小さいが比較的均等である。	

法的保護の状況（小規模開発を想定した場合）

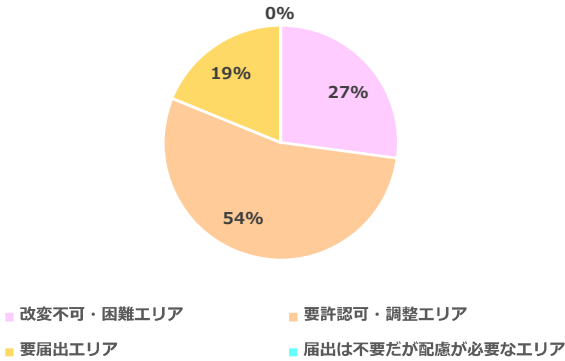
規制マップ（可視領域内）



記載

可視領域は「改変不可・困難エリア」が27%、「要許認可・調整エリア」の54%と合わせて8割を占める。主に、JR 豊肥本線の北に市側に分布している。残る2割の「要届出エリア」の大部分はカルデラ床内の分布が主である。本視点場周辺にも「改変不可・困難エリア」の可視領域が分布する。

可視領域内の規制種類の割合



眺望点及び眺望景観

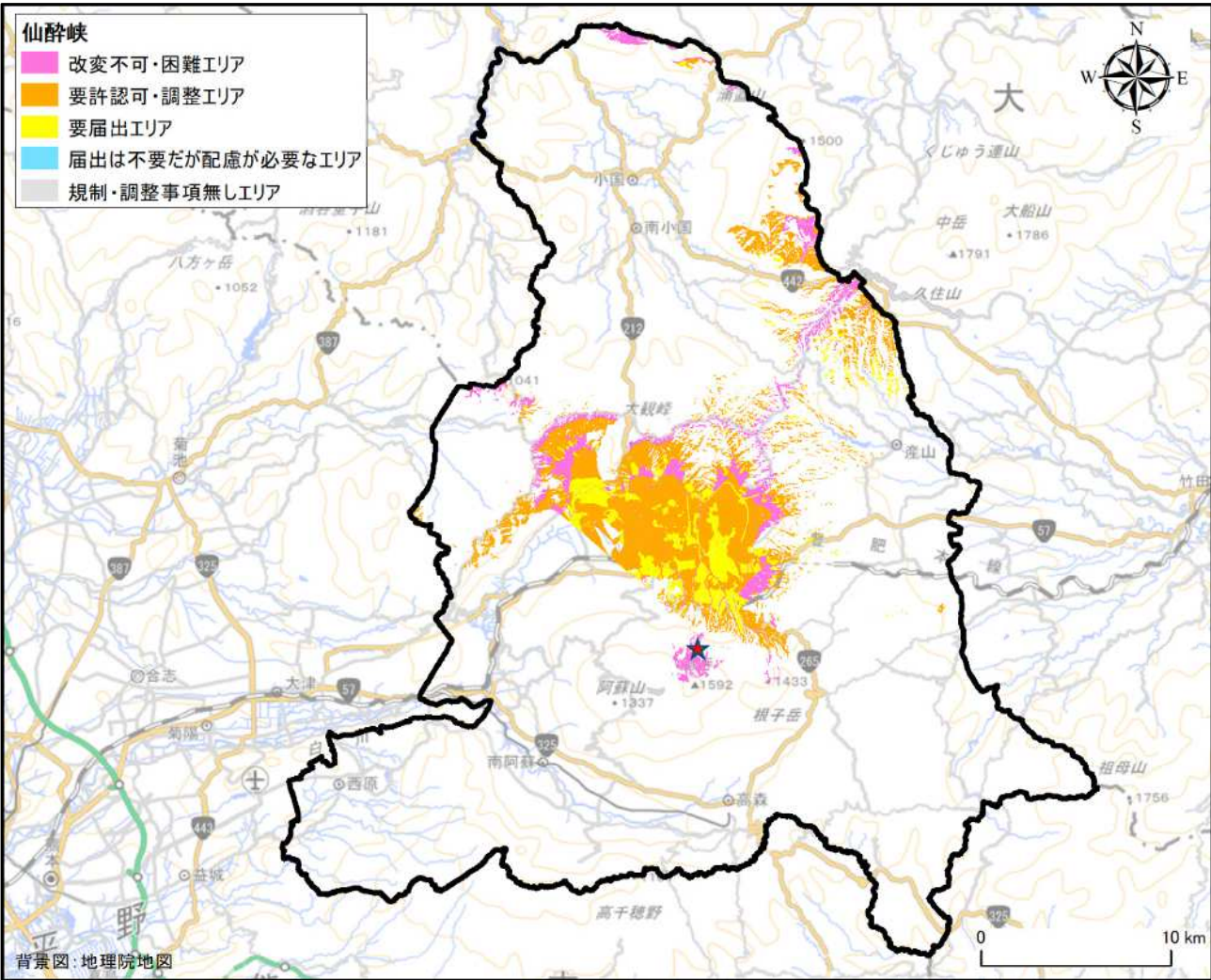
地 点 名	06 仙酔峡展望所	 出典：地理院地図（電子国土 Web）
所 在 地	阿蘇市一の宮町宮地（32° 53′ 56.71″ ・131° 6′ 17.95″ ）	
施設概要	約 5 万株のミヤマキリシマが溪谷を覆う仙酔峡。5 月中旬ごろから見頃を迎え、満開になると一帯をピンク一色に染め上げる。散策道を歩きながら花を愛でたり駐車場からの展望を楽しむなど、様々な楽しみ方ができる。（出典：熊本県公式観光サイト（https://kumamoto.guide/spots/detail/18742）） アクセス：国道 57 号から“仙酔峡道路”を経て駐車場までアクセス可能。 利 用 性：比較的広い駐車場有，利用は無料。トイレ・インフォメーションセンター有。展望台までは原野の中を散策路により導かれる。所々にベンチ有。	
眺望状況	中央火口丘山陵に連なる派生尾根上に展望所があり，視野 360° の視野を有する。北向きの眺望は大観峰と向かい合う形で，カルデラ床（阿蘇谷）・カルデラ壁と外輪山上の波状丘陵が望め，奥に久住連峰を望む。背後は中央火口丘山陵で，鷲ヶ峰・高岳を間近に眺望，コル（鞍部）に中岳の噴煙が見える。東側に根子岳が垣間見える。山肌はスコリア・安山岩質溶岩の露岩で，荒々しさも顕すが，展望所周辺の植生は草原・ミヤマキリシマ低木林であるため，階下の季節にはまた違った印象が推察される。ロープウェイ跡あり，やや人工物が多い印象もある。	
 出典：Google Map 施設概要（出典：Google Map）		
 360° パノラマ（2024.3.22 撮影）		
 高岳・人工構造物（焦点距離：50 mm）	 カルデラ床（阿蘇谷）・カルデラ壁（焦点距離：24 mm）	 鷲ヶ峰（焦点距離：24 mm）

アトリビュート分析

	アトリビュート 1	アトリビュート 2
可視領域図		
レーダーチャート		
記載	アトリビュート 1：中央火口丘北向き斜面側にあつてカルデラ床の占める比率が突出している点が特徴である。視点が 高いため外輪山上も視認される。 アトリビュート 2：カルデラ床の占める比率が高いため、水田の比率が比較的高い。森林も同等であり、中央火口丘山 麓やカルデラ壁に起因する。草原は外輪山上に起因する。	

法的保護の状況（小規模開発を想定した場合）

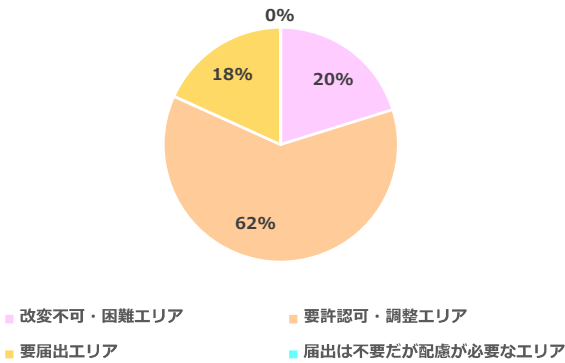
規制マップ（可視領域内）



記載

可視領域は「要許認可・調整エリア」が62%と半分以上を占め、「改変不可・困難エリア」及び「要届出エリア」はそれぞれ2割程度と同程度を占める。主に、外輪山内側の中央火口丘北東側斜面から阿蘇市市街地にかけて分布しており、県道11号やまなみハイウェイ沿いにも「改変不可・困難エリア」の可視領域が分布する。

可視領域内の規制種類の割合



眺望点及び眺望景観

地 点 名	07 萩岳展望所	 出典：地理院地図（電子国土 Web）
所 在 地	阿蘇市波野中江（32° 55′ 4.65″ ・131° 14′ 34.28″ ）	
施設概要	平坦な外輪山東側斜面（波野高原）に位置する独立峰。 アクセス：県道 41 号等を経由して、舗装された進入路にて容易にアクセス可能。 利 用 性：駐車場有，入場は無料。展望所は西側と東側の 2 箇所あり，四阿・ベンチ等が配置されている。萩岳山頂を含めこれらを周回する遊歩道が整備されている。	
眺望状況	樹木等の遮蔽により視認範囲は 250° 程度であるが，複数ある視点場間を移動することでより広範を見渡すことが出来る。 東外輪山外側の台地上にあり，中央火口丘からやや隔たった位置にあるため，主要な景観構成要素は外輪山外側の丘陵であり土地被覆は森林が大半である。中央火口丘は根子岳側を視認できる。カルデラ床は視認できない。	



施設概要（2023.09.12 撮影）



360° パノラマ（2023.09.12 撮影）



中央火口丘（根子岳側）
（焦点距離：24 mm）

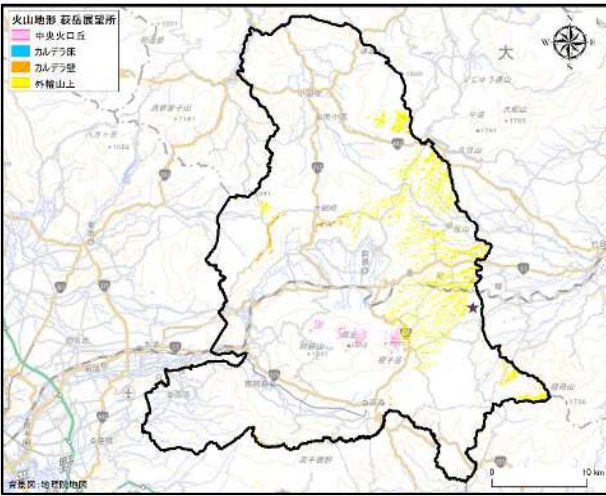
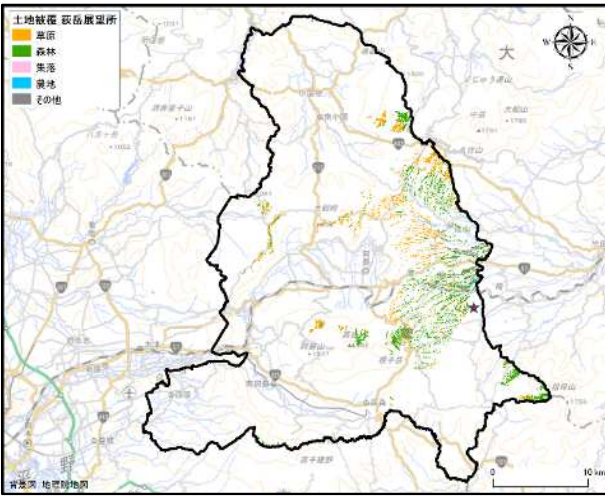
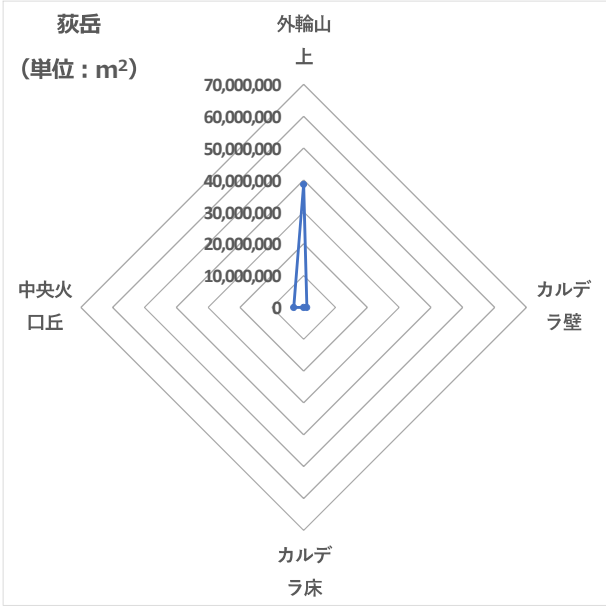
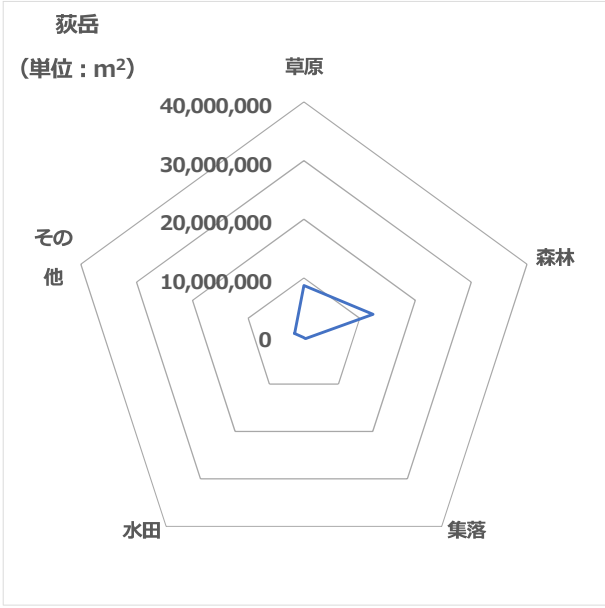


カルデラ北方の平原と九重連山
（焦点距離：24 mm）



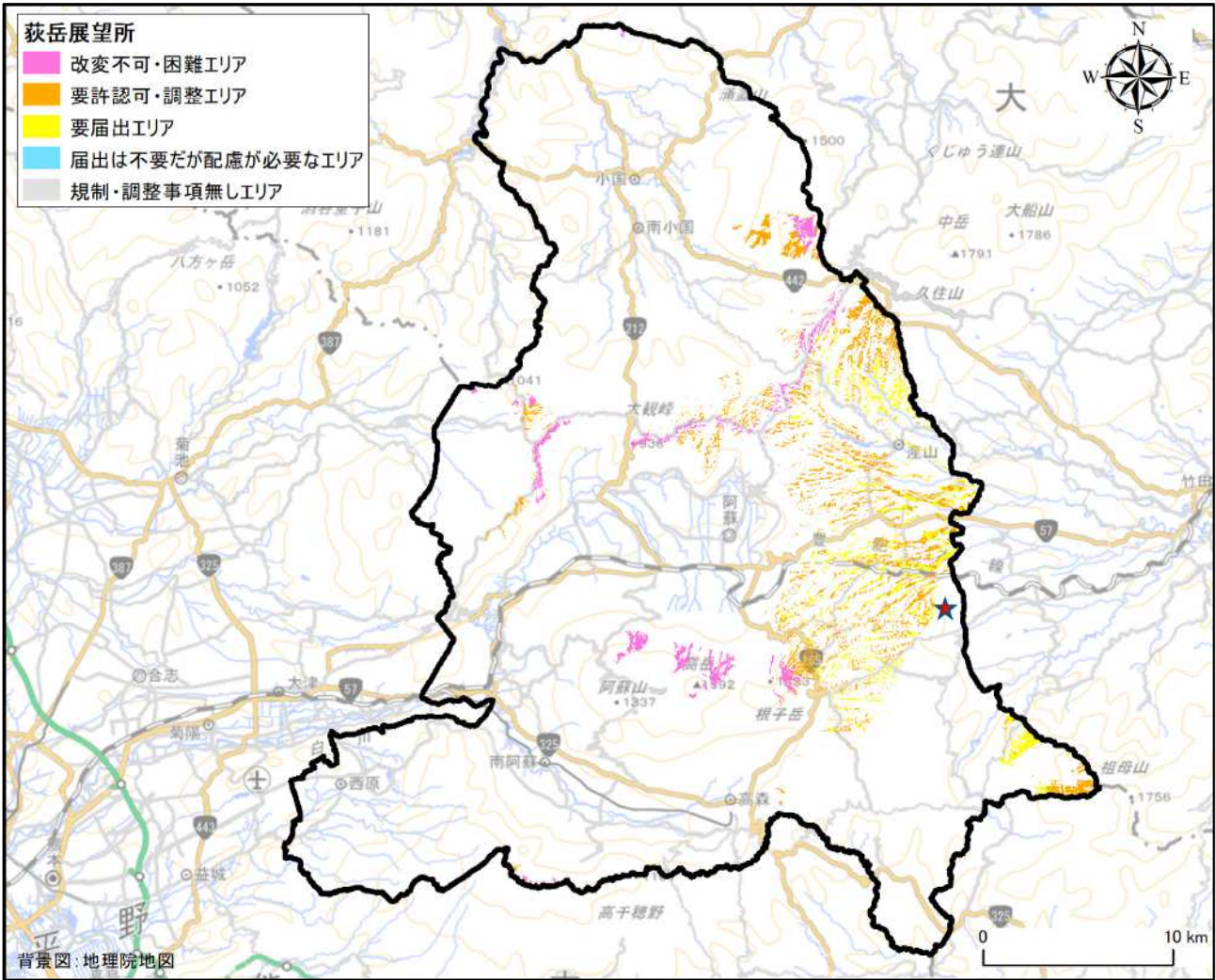
カルデラ当方の平原
（焦点距離：24 mm）

アトリビュート分析

	アトリビュート 1	アトリビュート 2
可視領域図		
		
記載	アトリビュート 1：波野地区に属し、外輪山上の比率が突出する。中央火口丘からやや隔たった位置で視野の大半が外輪山外側の丘陵であることに起因する。 アトリビュート 2：この地域の外輪山上は森林が大半なため、森林及び草が卓越する。	

法的保護の状況（小規模開発を想定した場合）

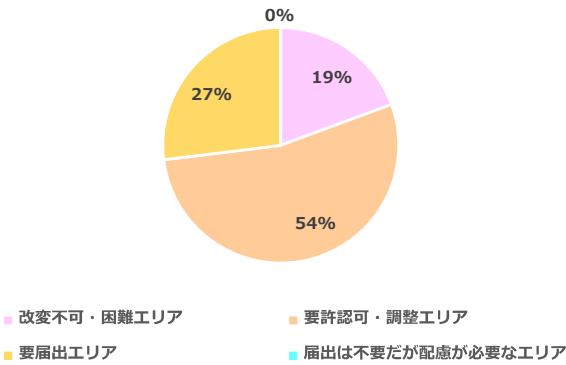
規制マップ（可視領域内）



記載

可視領域は「要許認可・調整エリア」が54%とおおよそ5割を占める。主に、阿蘇市北東から産山村にかけて「要許認可・調整エリア」と「要届出エリア」の可視領域が広く分布する。

可視領域内の規制種類の割合



眺望点及び眺望景観

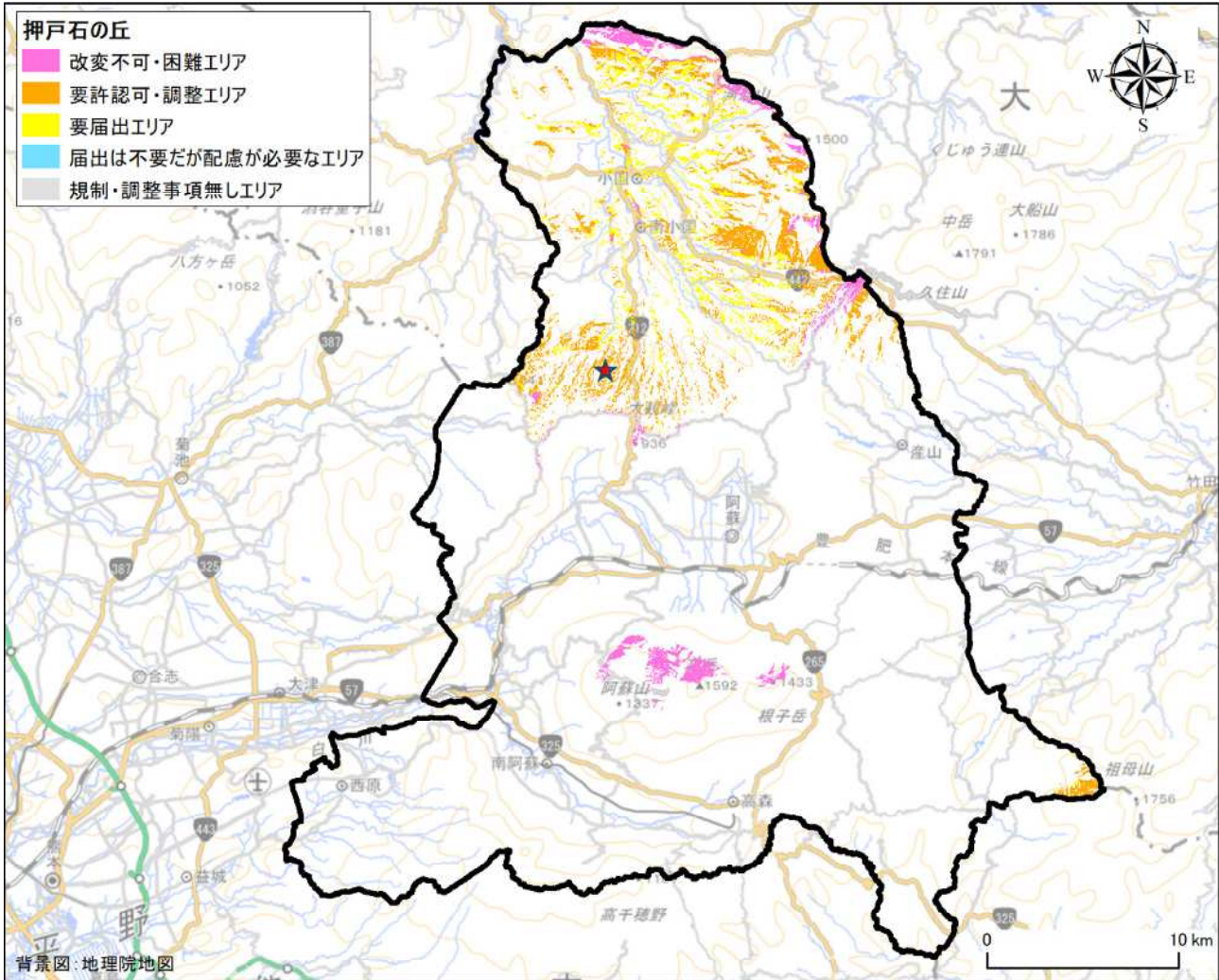
地 点 名	08 押戸石の丘		
所 在 地	南小国町中原 (33° 1′ 51.72″ ・ 131° 3′ 2.74″)		
施設概要	標高 845m の地にある「押戸石の丘」(おしといしのおか) といわれる大小の石群で、人為とも思われる石の配置から太古の遺跡ではないかと推定されている。町指定名勝。 (出典：南小国町観光協会 HP (URL: https://oshitoishi.net/)) アクセス：西部農免農道 (マゼノ ミステリーロード) から比較的整った砂利道にて容易にアクセス可能。 利 用 性：駐車場・案内書有，入場は有料。なだらかな起伏で周回遊歩道が整備されている。		
眺望状況	阿蘇外輪山北側の溶岩・火砕流台地にあって小高く、360° の眺望が開ける。やや開析された広大な溶岩・火砕流台地起伏の連なりが特徴で、遠景に阿蘇中央火口丘・九重連山を望む。阿蘇カルデラ床は視認できない。九重連山方面に風力発電所 (阿蘇おぐにウインドファーム) が視認できる。		
			
施設概要 (2023.09.12 撮影)			
			
360° パノラマ (2023.09.12 撮影)			
			
波状丘陵 (焦点距離：24 mm)		樹林の多い範囲 (焦点距離：24 mm)	
			
		風発を望む (焦点距離：70 mm)	

アトリビュート分析

	アトリビュート 1	アトリビュート 2
可視領域図		
レーダーチャート		
記載	アトリビュート 1：比較的平坦な波状丘陵のほぼ中央部に位置するため、景観構成要素として外輪山上が突出、し対象として「波状丘陵」に特化した眺望点となっている。 アトリビュート 2：地点の南側は草原が卓越するものの、北側は開析の進んだ丘陵となり、森林が卓越することから、景観構成要素としては草原よりも森林の方が上回った。	

法的保護の状況（小規模開発を想定した場合）

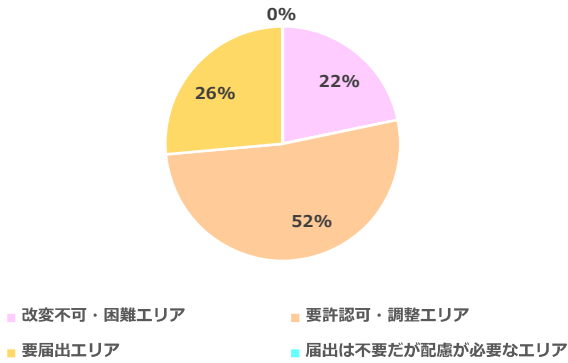
規制マップ（可視領域内）



記載

可視領域は「要許認可・調整エリア」が半分を占める。「改変不可・困難エリア」及び「要届出エリア」はそれぞれ2割程度と同程度であった。主に、北側の小国町北西～南側に広く分布する。このほか、中央火口丘周辺に「改変不可・困難エリア」、祖母山周辺に「要許認可・調整エリア」の可視領域が分布する。

可視領域内の規制種類の割合



眺望点及び眺望景観

地 点 名	09 小萩山稲荷神社_草原テラス	
所 在 地	南小国町満願寺 (33° 5' 21.93" ・131° 8' 4.95")	
施設概要	田の原温泉近くの小萩山稲成神社脇のウッドデッキ。小萩山稲成神社周辺は開放感たっぷりのパノラマ絶景スポットとして知られており、テラスから阿蘇五岳や南小国町の原野を一望出来る。広々とした草原に赤牛が放牧される。(南小国観光総合サイト (https://www.youmore-minamioguni.com/tourism/sougen/)) アクセス: 国道 442 号から田の原温泉集落を抜け細道を稲荷神社まで自動車アクセス可能。 利 用 性: 駐車場・トイレがあり、利用は無料。駐車場より先は、牧草地内に遊歩道が整備される。ウッドデッキ上はテーブル・ベンチがある。	

眺望状況	周辺は牧草地で、北東火山群（涌蓋山等）の火山性丘陵の緩斜面にあって、視野は阿蘇山方面に開け 250° 程度。遠景に阿蘇中央火口丘（“涅槃像”）が視認され手前に草原がちの波状丘陵が広がり、眼下には谷底平野に黒川温泉郷が見える。向かって左側（東側）に九重連山が見え、一方向かって右側（西側）は開析が進み森林がちの尾根が重なる。
------	--

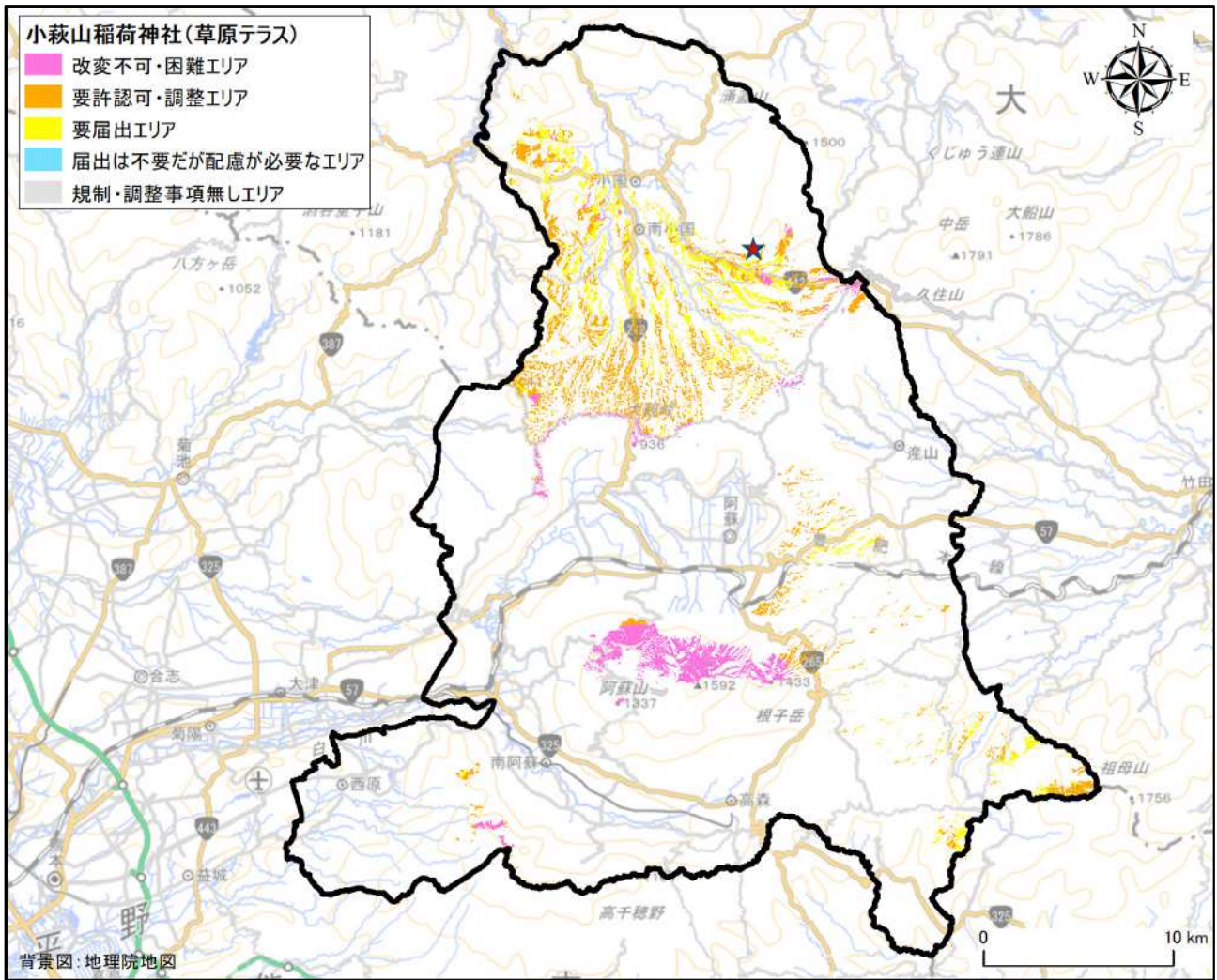


アトリビュート分析

	アトリビュート 1	アトリビュート 2
可視領域図		
レーダーチャート	小萩山稲荷神社_草原テラス (単位: m²)	小萩山稲荷神社_草原テラス (単位: m²)
記載	アトリビュート 1：押戸石の丘と類似した構成となっており外輪山上が突出する（が、火山性丘陵の成因は、前者の阿蘇火山に対して当地は涌蓋山等であり異なることに留意すべきかもしれない）。 アトリビュート 2：阿蘇外輪山上の草原との間に開析の進んだ丘陵を挟むため、草原よりも森林が卓越する。	

法的保護の状況（小規模開発を想定した場合）

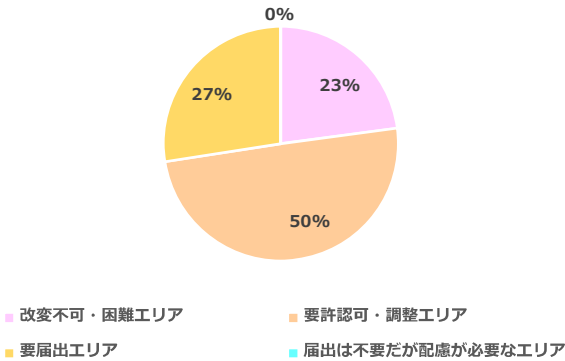
規制マップ（可視領域内）



記載

可視領域は「要許認可・調整エリア」が半分を占める。「改変不可・困難エリア」及び「要届出エリア」は2割強で同程度であった。主に、北側の小国町南西部では「要許認可・調整エリア」, 「要届出エリア」が広く分布し, 中央火口丘周辺は「改変不可・困難エリア」にあたる。

可視領域内の規制種類の割合



眺望点及び眺望景観

地 点 名	10 亀石峠（スカイファームロードひた最高標高点(800.081m)）	
所 在 地	大分県日田市天瀬町出口 (33° 11′ 52.8″ ・ 131° 3′ 2.38″)	
施設概要	スカイファームロードひた（熊本県境側はファームロード WAITA）は、日田から四季折々の山々を見ながらドライブのできるコース。亀石峠 駐 車 場 で一息つける。（日田市観光協会 HP (https://oidehita.com/archives/505） 眺望点はスカイファームロードひた最高標高点(800.081m)付近にある道路わきの空地（駐車場）。 アクセス:熊本県側からは国道 387 号からファームロード WAITA を経て、熊本県境からほど近い峠でアクセスは容易。 利 用 性:駐車スペースがあり、その他特に施設は無い。利用は無料。	
眺望状況	北東火山群（万年山等）の火山性台地の緩斜面にあって周辺は牧草地。視野は阿蘇山方面に開け 180° 程度。はるか彼方に阿蘇中央火口丘が視認され、手前に向かって解析の進んだ丘陵地の尾根の重なり、前景は万年山火山群に起因する草原がちの波状丘陵が視認される。	



出典：Google Map

施設概要（撮影）



360° パノ ラマ (2024.3.6 撮影)



日田市側から連なる火山丘陵の草地
(焦点距離：24 mm)



前景奥に開析の進んだ丘陵
(焦点距離：24 mm)



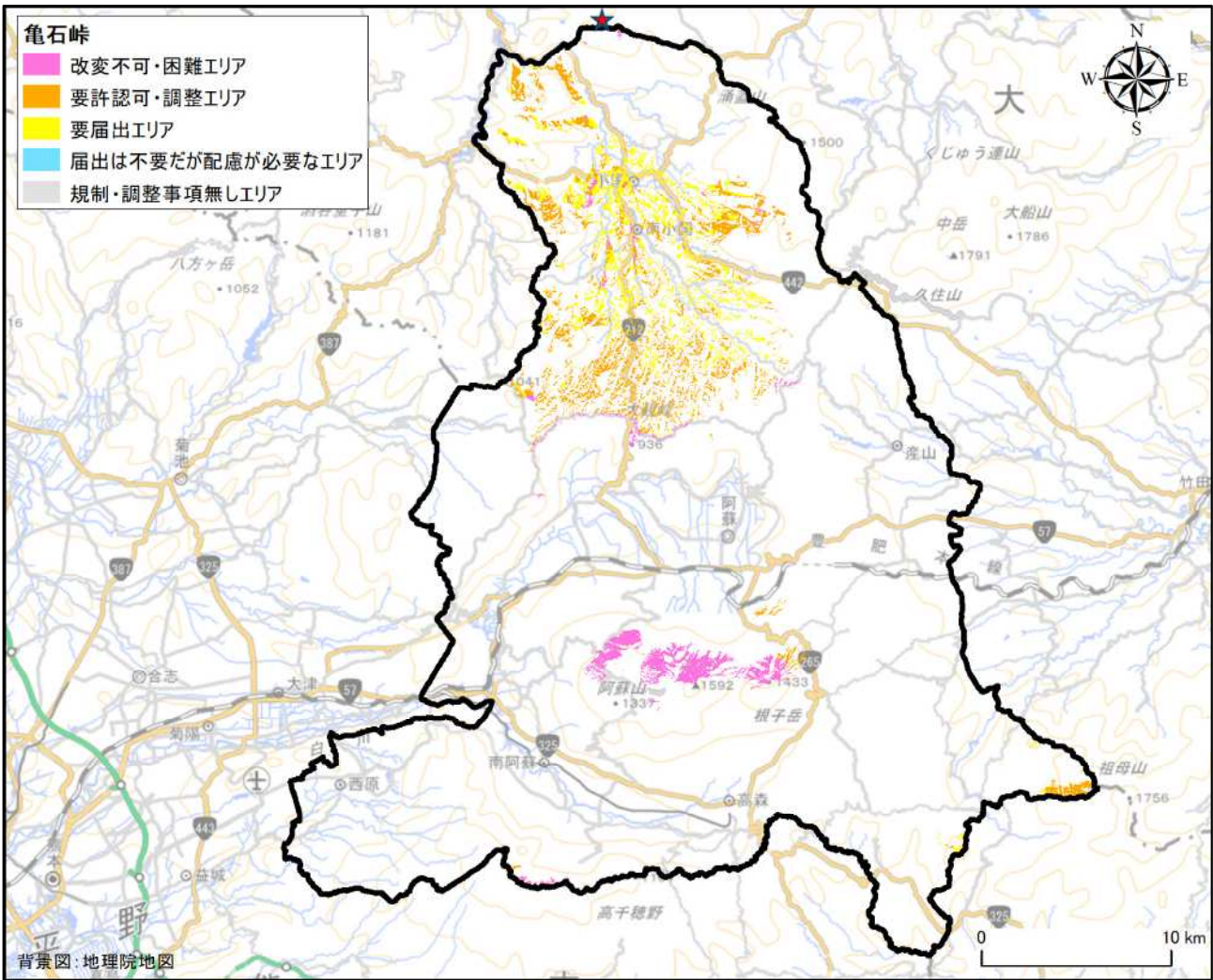
開析の進んだ丘陵
(焦点距離：70 mm)

アトリビュート分析

	アトリビュート 1	アトリビュート 2
可視領域図		
レーダーチャート		
記載	アトリビュート 1：押戸石の丘・草原テラスと類似した構成となっており外輪山上が突出する（が、火山性丘陵の成因は、当地はさらに万年山等であり異なることに留意すべきかもしれない）。 アトリビュート 2：阿蘇外輪山上の草原との間に開析の進んだ丘陵を挟むため、草原よりも森林が卓越する。	

法的保護の状況（小規模開発を想定した場合）

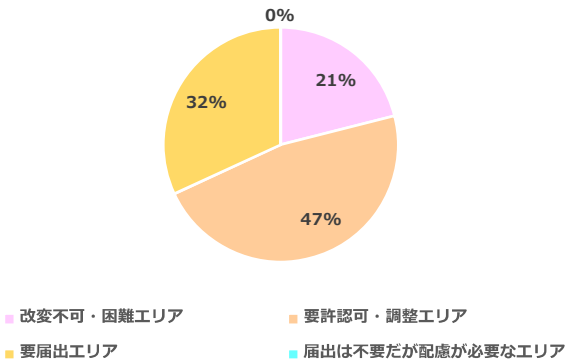
規制マップ（可視領域内）



記載

可視領域は「要許認可・調整エリア」が約半分、「要届出エリア」が32%を占め、主に、小国町南西部から外輪山斜面までに広く分布する。カルデラ内はほぼ見えず、中央火口丘の「改変不可・困難エリア」が見えるのみである。その他、祖母山周辺に「要許認可・調整エリア」の可視領域が分布する。

可視領域内の規制種類の割合



眺望点及び眺望景観

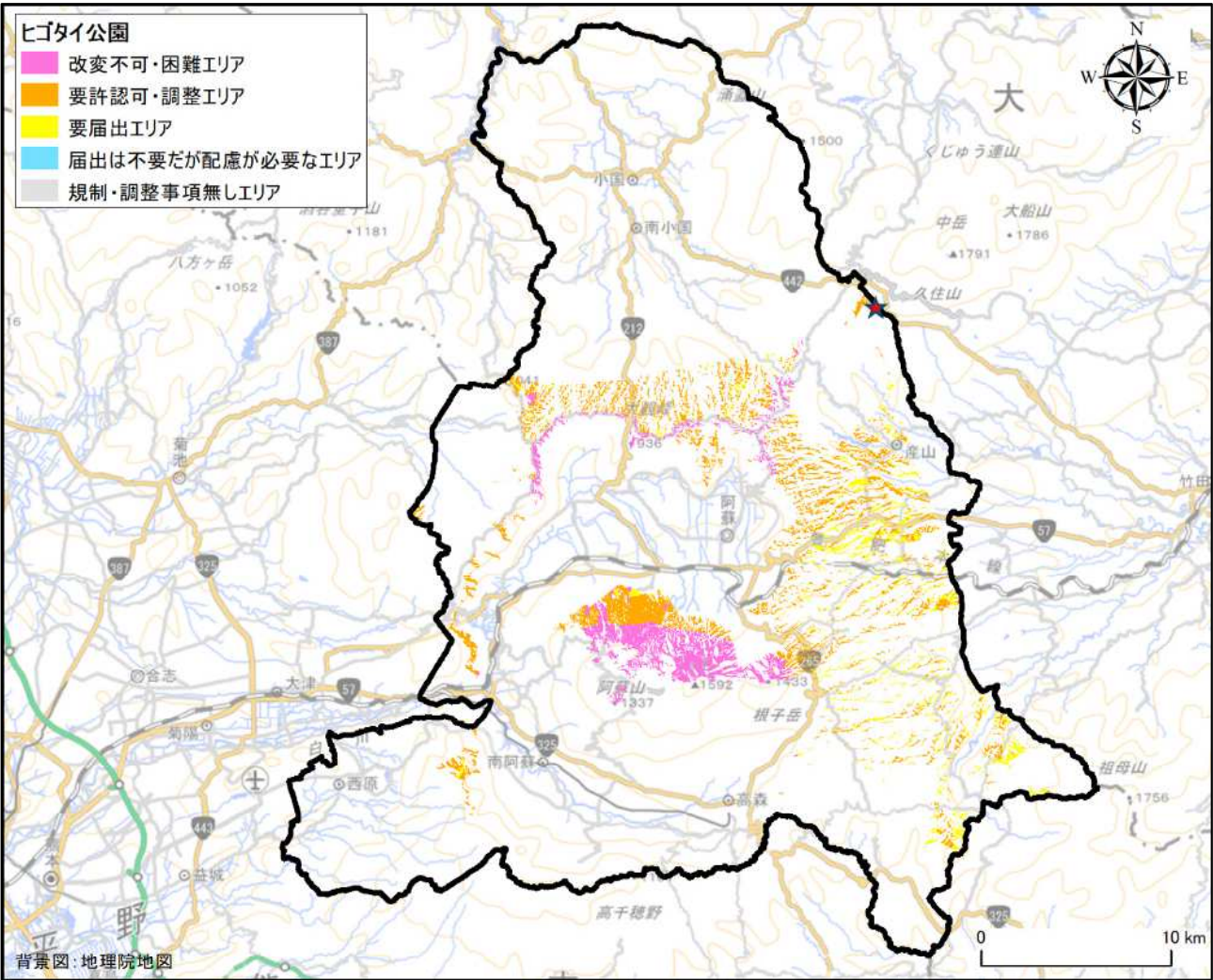
地 点 名	11 ヒゴタイ公園		
所 在 地	産山村田尻 (33° 3′ 38.31″ ・131° 12′ 18.7″)		
施設概要	産山村にある山野草の公園。春はハルリンドウ、夏はヒゴタイ、秋はコスモスなど、春から秋にかけて四季折々の花が咲きほころび、公園入口のビジターセンターでは高原の花について学ぶこともできる。 また、園内からは久住連山や阿蘇五岳、外輪山などが一望でき見晴らしも抜群。ロッジや常設テントを備えたキャンプ村もあり、遊歩道の散策や河川プールでの遊泳もできる。(出典：熊本県公式観光サイト (https://kumamoto.guide/spots/detail/11850)) アクセス：県道 11 号 (“やまなみハイウェイ”) から農道を経てアクセス可能。 利 用 性：駐車場・トイレあり，入り口にビジターセンターがある。利用は有料。園内は遊歩道，四阿・ベンチが整備される。		 出典：地理院地図 (電子国土 Web)
眺望状況	九重火山に起因する火山性丘陵上の，南西向きの緩斜面に位置し，360° の視野を有する。特に阿蘇方向は波状丘陵が長距離にわたって視認され，最奥に中央火口丘 (“涅槃像”) が視認される。向かって左側 (東側) には祖母山系も視認できる。背後には九重連山 岩井川岳・扇ヶ鼻等が迫る。		
 駐車場・ビジターセンター  園路・眺望点  四阿・ベンチ  出典：Google Map 施設概要 (出典：Google Map)			
 360° パノラマ (2024.1.30 撮影)			
 九重連山 岩井川岳・扇ヶ鼻 (焦点距離：24 mm)  波状丘陵と中央火口丘“涅槃像” (焦点距離：50 mm)  祖母山系 (焦点距離：70 mm)			

アトリビュート分析

	アトリビュート 1	アトリビュート 2
可視領域図		
レーダーチャート	ヒゴタイ公園 (単位: m²)	ヒゴタイ公園 (単位: m²)
記載	アトリビュート 1：産山地区に属し、小国郷と同様に外輪山上に位置するが、当地は九重火山に起因する火山性丘陵である。外輪山上が突出する点は小国郷の諸地点と同様であるが、南西向き（阿蘇山方向）の緩傾斜に起因し中央火口丘の視認性が比較的高くなっている。 アトリビュート 2：阿蘇外輪山上の草原との間に開析の進んだ丘陵を挟むが、当瀬の本高原一帯の草原が寄与し草原と森林が概ね半々となっている。	

法的保護の状況（小規模開発を想定した場合）

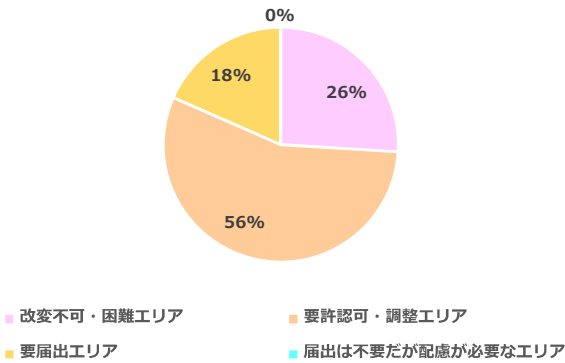
規制マップ（可視領域内）



記載

可視領域は「要許認可・調整エリア」が約半分を占め、「改変不可・困難エリア」が26%を占める。主に、北側の小国町南西部に広く分布する。このほか、中央火口丘北側斜面周辺に「改変不可・困難エリア」及び「要許認可・調整エリア」、外輪山の北側から東側に「要許認可・調整エリア」、「要届出エリア」の可視領域が分布する。

可視領域内の規制種類の割合



眺望点及び眺望景観

地 点 名	12 らくだ山展望台	 出典：地理院地図（電子国土 Web）
所 在 地	高森町高森（32° 50′ 18.65″ ・131° 8′ 10.48″ ）	
施設概要	岩の姿がまるでらくだの背中のように見える「らくだ山」は安山岩（あんざんがん）で出来ており、高森の観光スポット。（出典：休暇村南阿蘇 HP（https://www.qkamura.or.jp/aso/blog/detail/?id=59494）） アクセス：国道 265 号から狭隘な山道を辿り駐車場までアクセス可能。 利 用 性：駐車スペースはあるが、国道沿いの公園施設を利用することも考えられる。利用は無料。	
眺望状況	視野 360°（背後の小起伏でやや遮蔽される点を加味すると 270° ） カルデラ壁斜面上の貫入岩体が奇岩（らくだの背様）を形成する。 中央火口丘特に根子岳を眼前に望む。カルデラ床（南郷谷）は山林と畑地・水田がパッチ状に分布、高森の市街地も視認される。	



施設概要（出典：Google Map）



360° パノラマ（2024.2.25 撮影）



南郷谷・カルデラ壁（焦点距離：24 mm）



中央火口丘（根子岳）（焦点距離：24 mm）



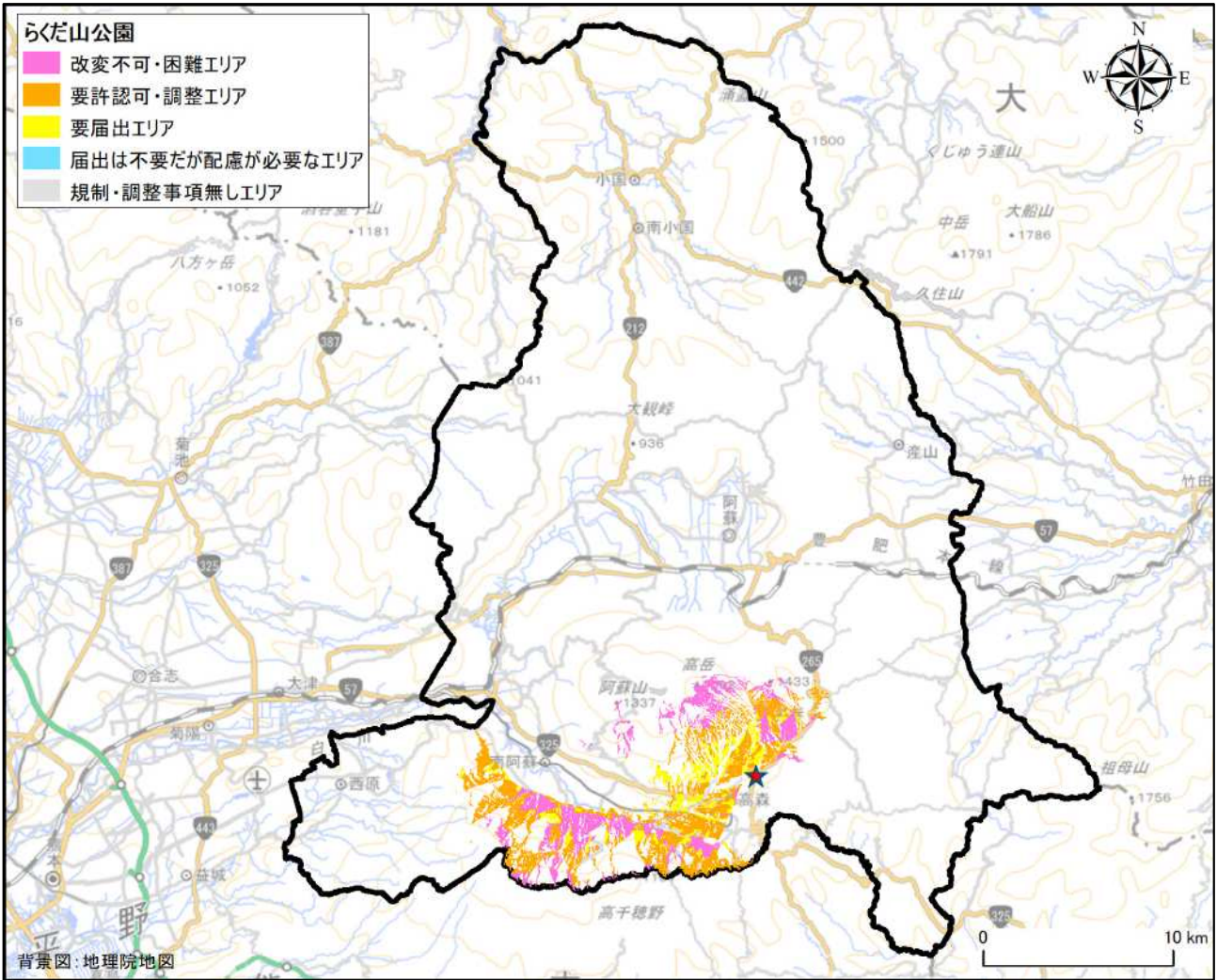
らくだ山の奇岩（焦点距離：24 mm）

アトリビュート分析

	アトリビュート 1	アトリビュート 2
可視領域図		
レーダーチャート	らくだ山公園 (単位: m²)	らくだ山公園 (単位: m²)
記載	アトリビュート 1：南郷谷に属す。阿蘇谷に比較すると可視領域はやや小さい傾向である。これは、南郷谷が阿蘇谷に比べてやや空間が小さく、また地形の起伏に富むことに起因する可能性がある。景観構成要素はカルデラ床を主体としカルデラ壁・中央火口丘を含む。外輪山上を殆ど欠く点も特徴である。 アトリビュート 2：地形の起伏に富み、景観構成要素は斜面地に立地する森林が卓越する。その他は占める要素は小さいが比較的均等である。	

法的保護の状況（小規模開発を想定した場合）

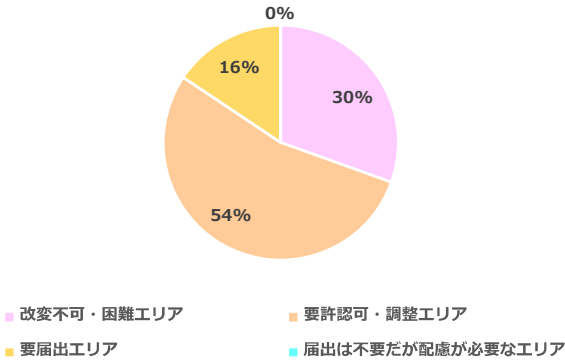
規制マップ（可視領域内）



記載

可視領域は「要許認可・調整エリア」が過半数であり、「改変不可・困難エリア」と合わせて8割強を占める。主に、外輪山内東側から南側斜面に「改変不可・困難エリア」及び「要許認可・調整エリア」がモザイク状に分布する。

可視領域内の規制種類の割合



眺望点及び眺望景観

地 点 名	13 清栄山（せいえいざん）	 出典：地理院地図（電子国土 Web）
所 在 地	高森町矢津田（32° 49′ 19.2″ ・131° 9′ 14.39″ ）	
施設概要	旧九州百名山の一つで阿蘇外輪山の東に位置する標高 1006.3m の山。 歩道が整備され、頂上まで 30 分弱と比較的気軽に登ることができる山として人気。山頂からは、阿蘇外輪山、根子岳、高岳、祖母山が一望でき、外輪山内側には自然林と岩稜の雄大な風景が広がる。また、秋には紅葉の他、麓に広がる牧草地のすすきの風景がとても美しい。 （出典：TAKAraMORI HP（http://takaramori.com/jp/spot/） アクセス：幹線道路から隔たり、農用道にて黒岩峠まで車でアクセス可能。これより先は登山となる。 利 用 性：黒岩峠に若干の駐車スペースがある。登山道入り口付近は怪談が整備されているが、以降は踏み跡登山道となる。その他の施設は特になし。	
眺望状況	（眺望点は農用道脇を利用） 南外輪山上のピークに位置し 360° の視野を有する。カルデラ床（南郷谷）及び中央火口丘、南外輪山の連なりを眺望できる。背後は森林がちな波状丘陵が広がり、遠方に祖母山系を視認できる。	



施設概要（出典：Google Map）



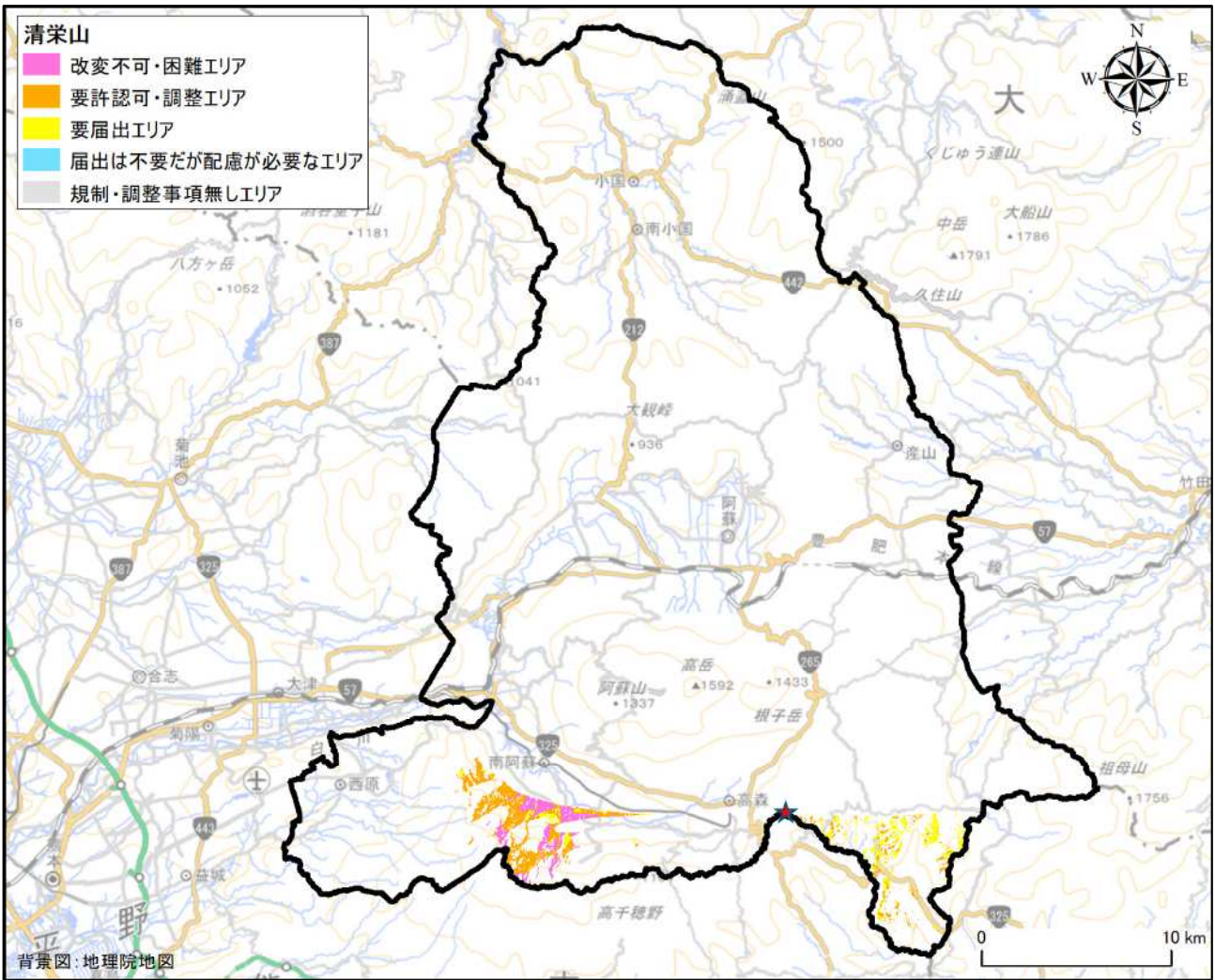
東側外輪山上の波状丘陵・遠景に祖母山系を望む（熊本県提供）

アトリビュート分析

	アトリビュート 1	アトリビュート 2
可視領域図		
レーダーチャート	清栄山 (単位: m²) 外輪山上 70,000,000 60,000,000 50,000,000 40,000,000 30,000,000 20,000,000 10,000,000 0 中央火口丘 カルデラ壁 カルデラ床	清栄山 (単位: m²) 草原 40,000,000 30,000,000 20,000,000 10,000,000 0 その他 森林 水田 集落
記載	アトリビュート 1：可視領域は比較的小さいが、外輪山上・カルデラ壁・カルデラ床がほぼ均等に視認される。 アトリビュート 2：森林がちの景観構成要素となっている。	

法的保護の状況（小規模開発を想定した場合）

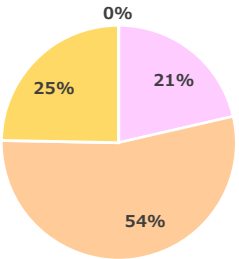
規制マップ（可視領域内）



記載

可視領域は「要許認可・調整エリア」が約半分を占め、「不可変・困難エリア」、「要届出エリア」は2割強と同程度である。主に、外輪山内南側や高森町南端に限定的に分布する。

可視領域内の規制種類の割合



- 不可変・困難エリア
- 要許認可・調整エリア
- 要届出エリア
- 届出は不要だが配慮が必要なエリア

眺望点及び眺望景観

地 点 名	14 山鳥地区の展望所	 出典：地理院地図（電子国土Web）
所 在 地	高盛町色見（32° 51′ 18.97″ ・131° 6′ 24.19″ ）	
施設概要	2022 年 12 月に竣工した比較的新しい施設で、域外での知名度は未だ高くないとみられる。中央火口丘の南斜面の末端付近に位置する。 アクセス：林道沿いの隣接し、アクセスは比較的容易だが、未だ案内情報がやや乏しい。 利 用 性：駐車スペースと展望台等が整備されている。	
眺望状況	南側に展望が開け、近景から中央火口丘山麓斜面、カルデラ床（南郷谷）、カルデラ壁（稜線が鋸状の南カルデラ）へと連なる。カルデラ床はカルデラ壁側から北側に向かって緩やかに傾斜し、扇状地性の平坦地であることがわかる。	



施設概要（出典：Google Map）



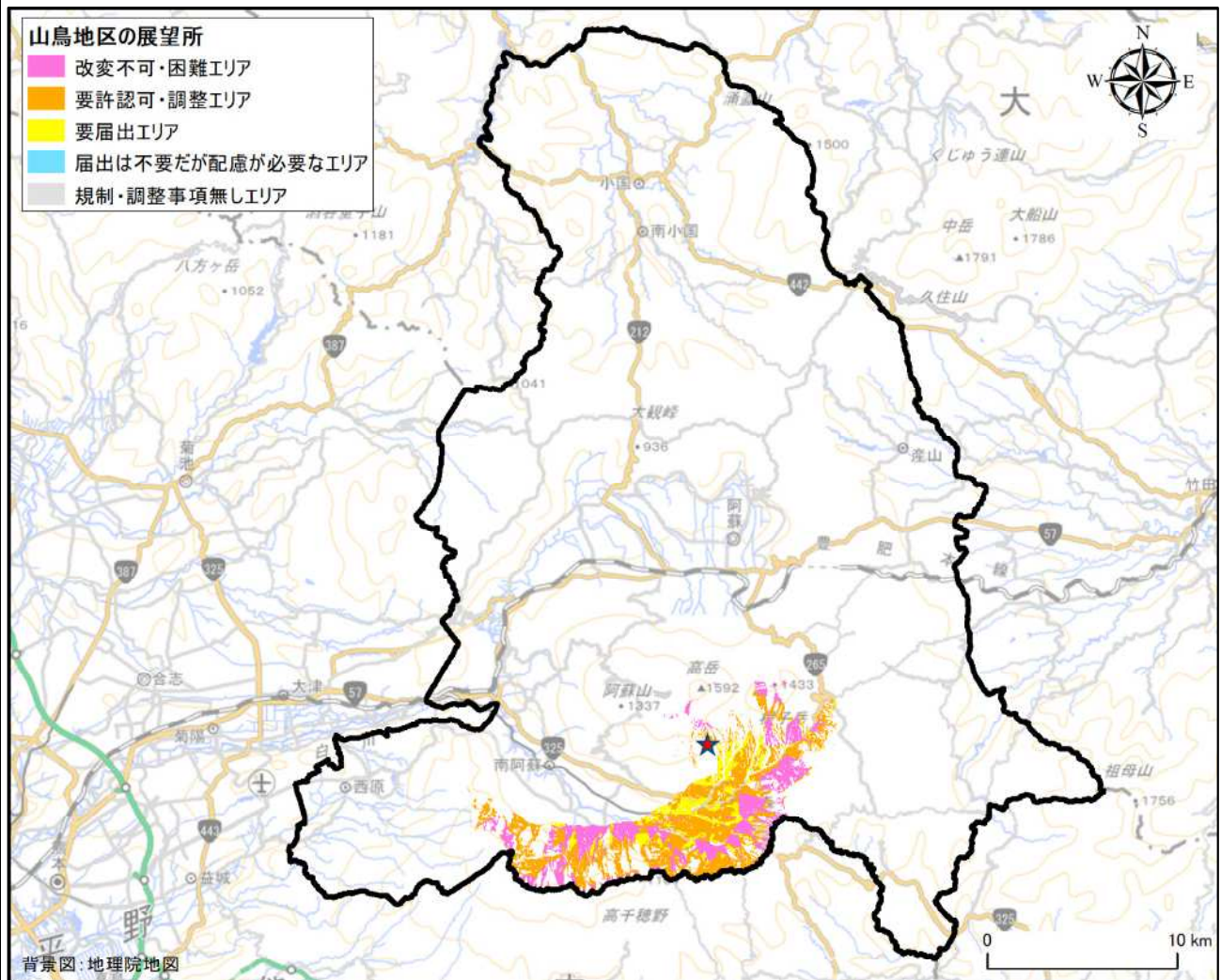
南郷谷・南外輪山方面（南側）パノラマ（熊本県提供）

アトリビュート分析

	アトリビュート 1	アトリビュート 2
可視領域図		
レーダーチャート	山鳥地区の展望所 (単位: m²)	山鳥地区の展望所 (単位: m²)
記載	アトリビュート 1：南側に可視領域が広がることから、カルデラ床及びカルデラ壁が主要な景観構成要素となっている。 アトリビュート 2：カルデラ床には水田・集落が立地するものの、中央火口丘山麓とこれに連なる河川・水路、カルデラ壁等に森林が立地するため、全体としては森林がちな景観構成要素となっている。	

法的保護の状況（小規模開発を想定した場合）

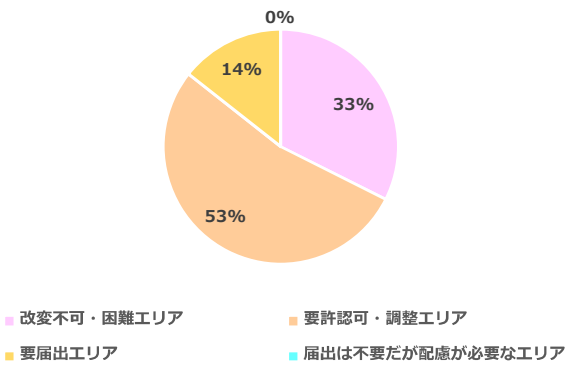
規制マップ（可視領域内）



記載

可視領域は「要許認可・調整エリア」が約半分を占め、「改変不可・困難エリア」の33%とあわせて9割を占める。主に、外輪山内東側から南側斜面に「改変不可・困難エリア」、「要許認可・調整エリア」、「要届出エリア」がモザイク状に分布する。

可視領域内の規制種類の割合



眺望点及び眺望景観

地 点 名	15 一の峯	 出典：地理院地図（電子国土 Web）
所 在 地	西原村宮山（32° 49′ 2″ ・130° 57′ 9.62″ ）	
施設概要	南外輪山の護王峠と本谷越の中間点から西に大きく張り出した尾根。原野は、野焼きが大規模に行われており、多くの花やワラビが楽しめる。景色もたいへんよく、一ノ峯山頂からの展望は雄大。（出典：九州観光機構 HP 九州旅ネット（https://www.welcomekyushu.jp/event/?mode=detail&id=9999902009319&isSpot=1&isEvent=）） アクセス：幹線道路から隔たり、付近は農作業道等狭隘な道路しかなく、徒歩でのアクセス（登山）となる。 利 用 性：駐車場・トイレその他施設は特になく、踏み跡の登山道がある。軽登山装備を要する。	
眺望状況	阿蘇カルデラ形成以前の火山噴出物で形成された丘陵上の尾根に位置し、360° の視野を有する。周辺は牧草地で波状丘陵を呈し、東側にカルデラの山稜を外側から眺望する形となる。熊本平野側の眺望が開け、金峰山・雲仙が視認できる。	



施設概要（出典：Google Map）



パノラマ（一の峯～二ノ峯間より熊本平野側を望む；熊本県提供）



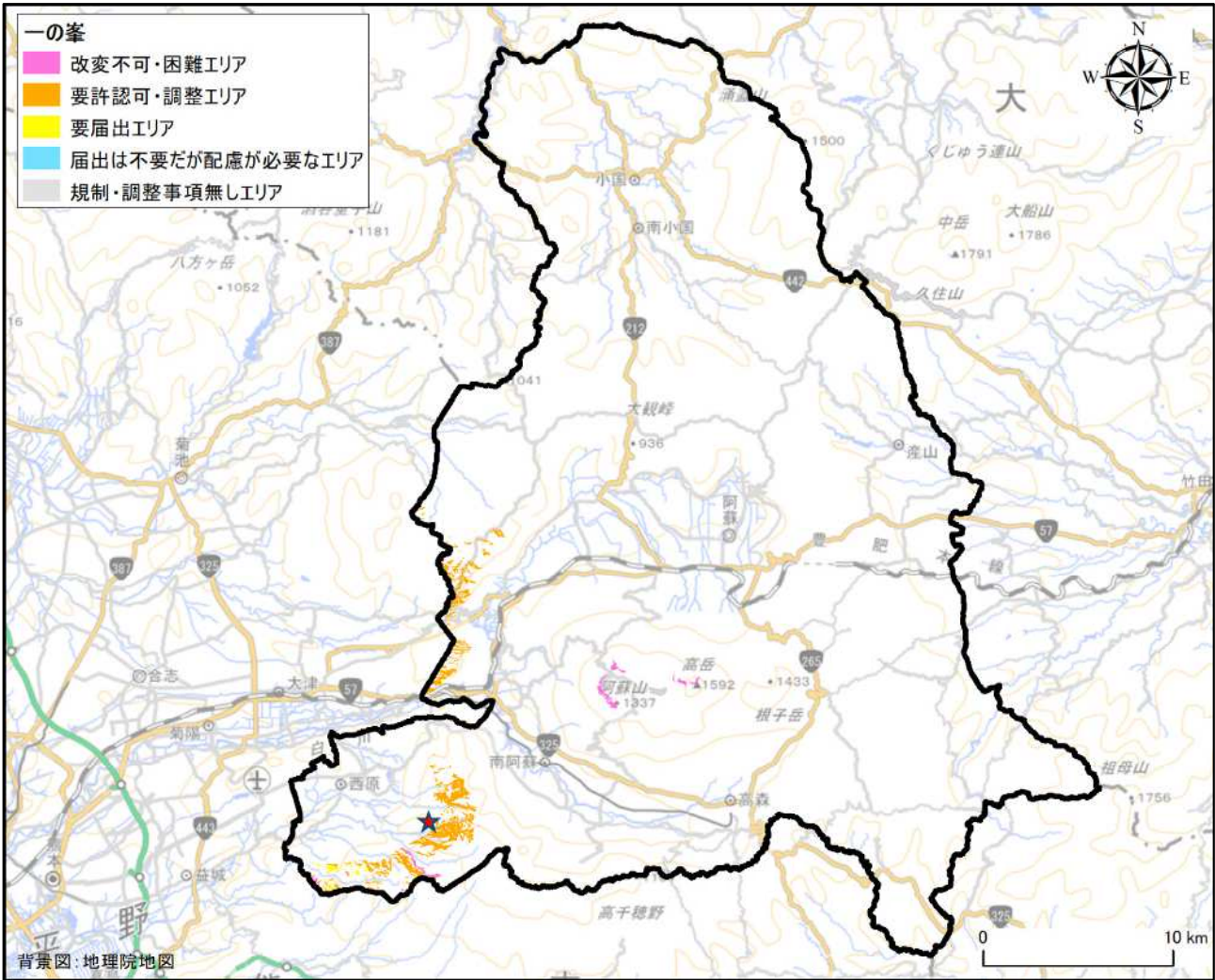
東側カルデラ方向（熊本県提供）

アトリビュート分析

	アトリビュート 1	アトリビュート 2
可視領域図		
レーダーチャート		
記載	アトリビュート 1：阿蘇地域の可視領域は比較的小さい。周辺に広がる外輪山上の波状丘陵が主要な景観構成要素となっている。 アトリビュート 2：波状丘陵の草原が主要な景観構成要素となっている。	

法的保護の状況（小規模開発を想定した場合）

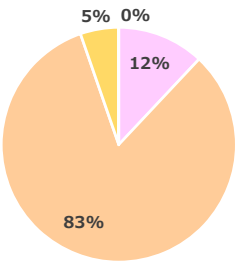
規制マップ（可視領域内）



記載

可視領域内の規制種類の割合

可視領域は「要許認可・調整エリア」が83%と大部分であり、「改変不可・困難エリア」と合わせてほとんどを占める。可視領域は限定的であり、主に、西原村の東側から南側斜面に及び阿蘇市南西側境界に「要許認可・調整エリア」、中央火口丘周辺に「改変不可・困難エリア」が分布する。



- 改変不可・困難エリア
- 要許認可・調整エリア
- 要届出エリア
- 届出は不要だが配慮が必要なエリア

眺望点及び眺望景観

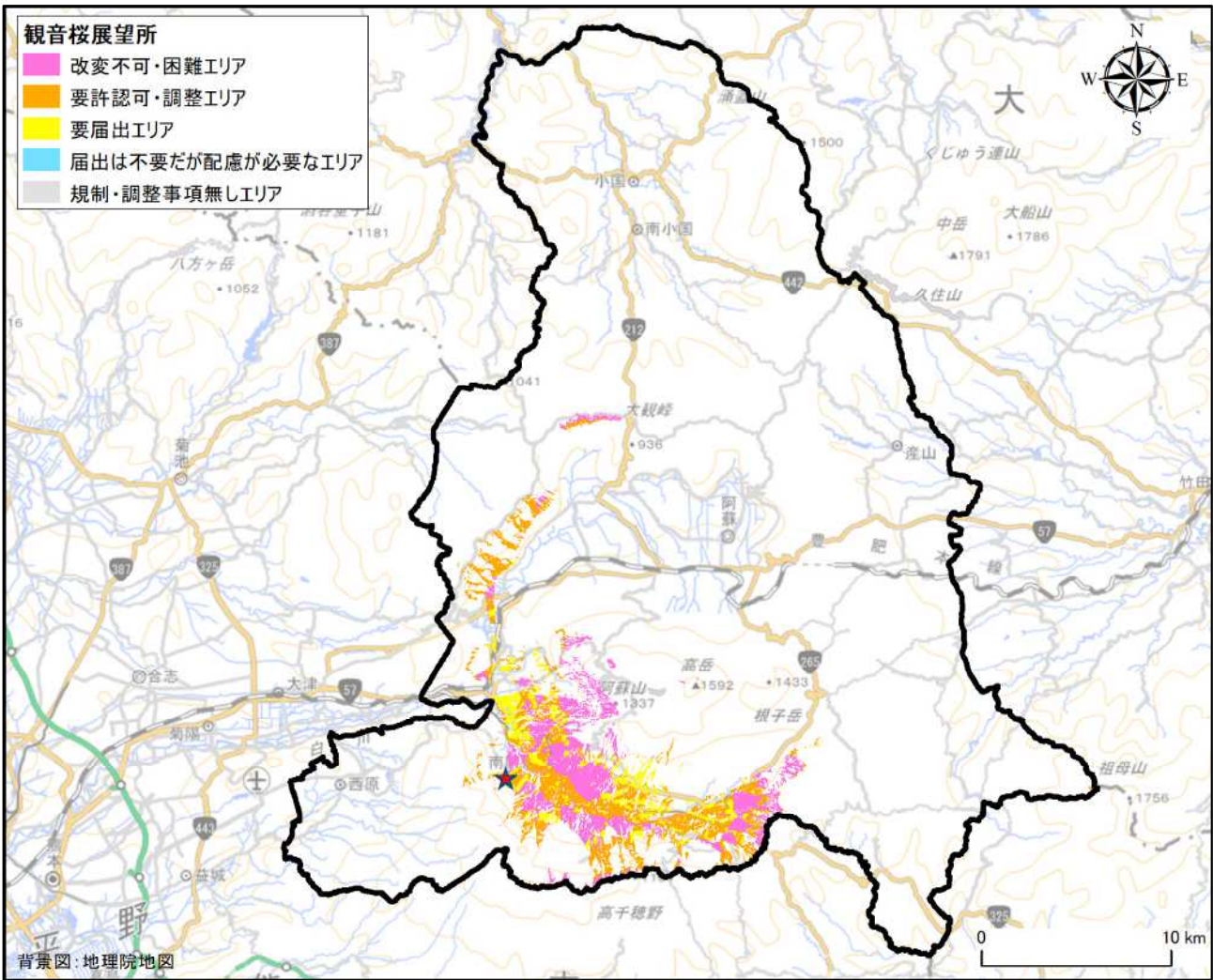
地 点 名	16 観音桜展望台	
所 在 地	南阿蘇村河陰 (32° 50′ 15.52″ ・ 130° 59′ 46.64″)	
施設概要	カルデラ壁下部緩傾斜の草原に立地する、樹齢およそ 90 年位の「観音桜」を見下ろす形で展望台が整備される。「観音桜」は、阿蘇の山々が桜の背景となり、遠くに高岳・中岳・烏帽子岳等が見え、絶好のロケーションとされる。(出典：熊本県公式観光サイト (URL: https://kumamoto.guide/spots/detail/12486)) アクセス：県道 28 号等を経由して、舗装された道路が公園を周回するように整備され容易にアクセス可能。 利 用 性：道路脇に駐車場有、入場は無料。四阿・ベンチ等が配置されている。	
眺望状況	展望所はカルデラ内側に位置し、眺望は主にカルデラ内部方向に広がる。視野は 140° 程度。中央火口丘及び山麓に広がる樹林地・集落・水田等、カルデラ床、南外輪山のカルデラ壁が間近に見える。近景域の草地斜面は「観音桜」が見えるほか、時期によっては放牧された牛の姿が見える。	
		
施設概要 (出典：Google Map)		
		
360° パノラマ (2023.09.12 撮影)		
		
中央火口丘・山麓 (焦点距離：24 mm)	カルデラ床・カルデラ壁 (焦点距離：24 mm)	カルデラ壁の草地を利用した牧畜と観音桜 (焦点距離：24 mm)

アトリビュート分析

	アトリビュート 1	アトリビュート 2
可視領域図		
レーダーチャート	観音桜展望所 (単位: m²)	観音桜展望所 (単位: m²)
記載	アトリビュート 1：らくだ山と距離は隔たるが、南郷谷に属す地点としてらくだ山と同様の傾向を示す。すなわちカルデラ床を主体としカルデラ壁・中央火口丘を含み、外輪山上を殆ど欠く。 アトリビュート 2：らくだ山と同傾向であるが、当地の方が白川扇状地の末端側に位置するため、水田の比率が比較的高くなる点が特筆され、集落も比率は小さいが含まれる。 なお現地踏査時には放牧の様子も確認され、アトリビュート 3 以降の検討材料としても考慮の可能性はある。	

法的保護の状況（小規模開発を想定した場合）

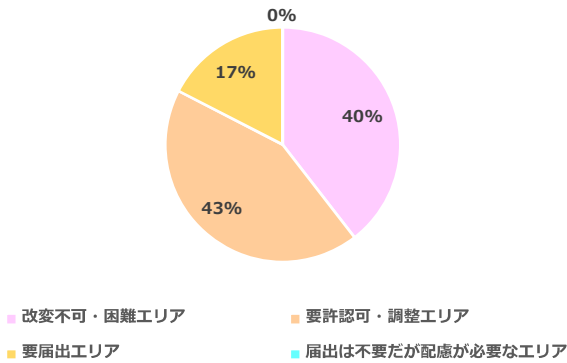
規制マップ（可視領域内）



記載

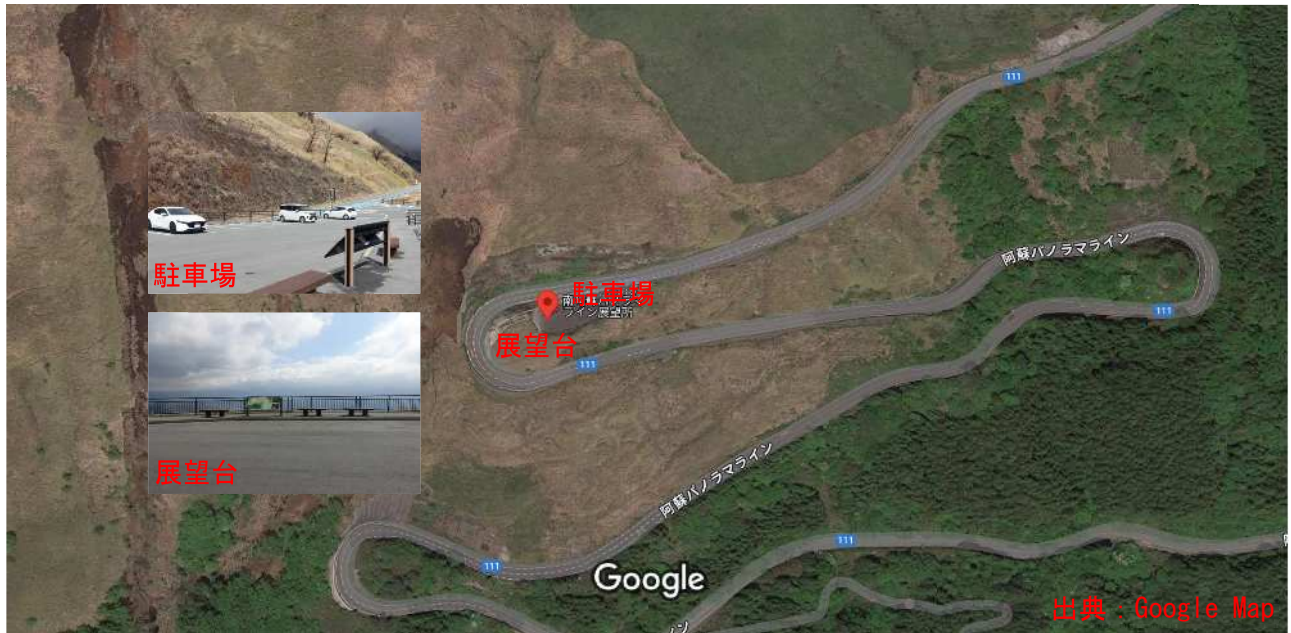
可視領域は「不可変・困難エリア」及び「要許可・調整エリア」がそれぞれ4割程度であり、合わせて8割以上を占める。主に、外輪山内南側から西側斜面に「不可変・困難エリア」、「要許可・調整エリア」、「要届出エリア」がモザイク状に分布する。

可視領域内の規制種類の割合



眺望点及び眺望景観

地 点 名	17 南阿蘇パノラマライン展望所	
所 在 地	南阿蘇村中松 (32° 51′ 9.89″ ・ 131° 2′ 35.21″)	
施設概要	南阿蘇と阿蘇山上を繋ぐ南登山道（阿蘇パノラマライン、県道 111 号線）のヘアピンカーブ近くに位置する。阿蘇五岳側から、カルデラならではの南郷谷と外輪山の景色を楽しむことができる。 （出典：みなみあそ観光局 南阿蘇総合情報サイト （https://minamiaso.info/spot/minamipanoramaviewpoint/） アクセス：県道 111 号脇でアクセスは容易。 利 用 性：駐車場と展望台の簡素な施設。展望スペースには周辺案内の看板とベンチが設置されている。比較的短時間の立ち寄り利用が想定される。	
眺望状況	視野 180° 程度。背後は中央火口丘の斜面で切土法面に遮られる。南側に向けてカルデラ床を覗き込むような視線で、南外輪山が間近に迫る感覚を得る。カルデラ床は水田と集落が点在。中央火口丘斜面は崖錐から扇状地の緩斜面へと移行し、最後カルデラ床に流れ込む河道となる様子が、一連の樹林地として視認できる。	



施設概要（出典：Google Map）



360° パノラマ（2024.2.25 撮影）



カルデラ壁と手前中央火口丘崖錐・扇状地斜面（樹林地）（焦点距離：50mm）



南郷谷の水田・集落（焦点距離：24mm）



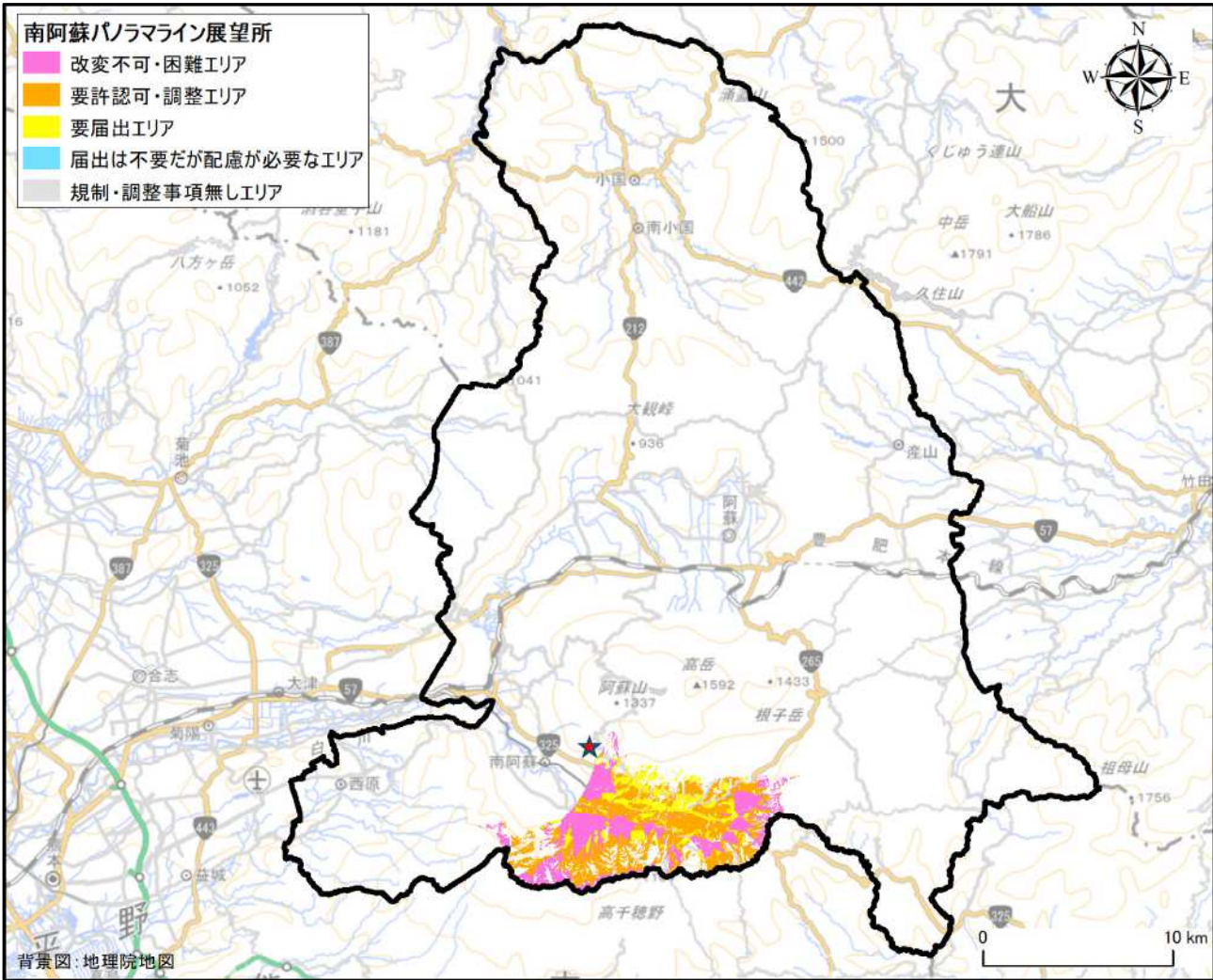
斜面部～カルデラ床の水田（一部棚田）（焦点距離：70mm）

アトリビュート分析

	アトリビュート 1	アトリビュート 2
可視領域図		
レーダーチャート	南阿蘇パノラマライン展望所 外輪山 (単位: m²)	南阿蘇パノラマライン展望所 (単位: m²)
記載	アトリビュート 1：南郷谷を境に観音桜展望所の対岸に位置する（当地は中央火口丘側）。従って類似した景観要素を互いに見る形となり、構成比率は当地が中央火口丘を殆ど欠くこと以外は類似している。カルデラ床とカルデラ壁を主体とする。 アトリビュート 2：中央火口丘斜面から連なる森林と、カルデラ床の水田に特徴づけられ、比率は小さいが集落も含まれる。	

法的保護の状況（小規模開発を想定した場合）

規制マップ（可視領域内）



記載

可視領域内の規制種類の割合

可視領域は「要許可・調整エリア」が約半分であり、「改変不可・困難エリア」と合わせて8割以上を占める。主に、外輪山南側斜面に「改変不可・困難エリア」, 「要許可・調整エリア」がモザイク状に分布し、傾斜の緩いカルデラ床部分では「要届出エリア」も分布する。

